

## 全神秘丸呑計画情報まとめ



## 事前情報

【冒険タイトル】全神秘丸呑計画（GS扱い）

【推奨レベル】7-11（転生6OK・5は自己責任）

【報酬】1人50000セレン+???

【取得予想経験点】20000経験点～

【経過】???

【推奨技能】未知の言語を読み書きする程度の能力

【フラグ】誰かが持ってるかも

【難易度】ルナティック

【概要】11/5（火）21:00～開始。

毎週土曜日はお休み。（基本的に水曜日は22時開始、それ以外は21時開始）

未踏の地アルマーヤ帝国は未開拓地ながら、占星術や様々な独特の技術が秘められた秘境である。

場所によって異なるが「神秘」という不思議なものが存在しているとされている。

帝国ではあるが、首都はなく統一の王もなく数々の大きな町や部落が存在しているだけ。

だが、ゴブリン帝国から見えるザクラムという町があることかここが首都であると宣言し始めた。

それからと言うものの、決してアルマーヤから出てこない筈の住民は外に外に敵意を発し始めた。

ゴブリン帝国から対岸を見ると、そんな文明など発達していないはずの機械仕掛けの兵器がよく見えるという。

ザクラムでは真っ赤な通貨が使われ始めているという噂がある。

本来、貨幣など存在せず物々交換、もしくは金銀宝石を使う程度のはず…。

※この冒険にて催眠されたり洗脳されたり改造されたり悪堕ちさせられたりしても当方は一切の責任を負いかねます  
グループ分けしている状態で街中で大規模な戦闘が発生すると、別室を使うことがあります。

## 前説

今回の依頼はゴ布林帝国からのもの。依頼者もゴ布林。

ゴ布林帝国はその立地ゆえか、アルマーヤ帝国の神秘を狙ってか、たびたびアルマーヤ帝国に攻め入っているが、全て返り討ち。

未踏の地アルマーヤ帝国は未開拓地ながら、占星術や様々な独特の技術が秘められた秘境。

前述の場所によって異なる「神秘」という不思議なものがある。

ゴ布林帝国の王（皇帝？）のクリムゾン（アイ？）は、アルマーヤで神秘を得たゴ布林。

アルマーヤ帝国は帝国ではあるが、首都はなく統一の王もなく数々の大きな町や部落が存在しているだけ。

アルマーヤ帝国の民が帝国外に出てくることはないといわれている。

今回の依頼者である「ゴブッチョ」は、ゴ布林帝国の北の副将軍。

ある日、いつものようにアルマーヤ帝国に攻め入ろうと作戦を練っていたところ、とんでもないものを目にした。

一番攻め入りやすい南の大きな町「ザクラム」の海岸に巨大な大砲やら機械仕掛けの兵器が並んでいた。

攻めあぐねていたところ、アルマーヤ帝国から砲撃を受けてしまった。

「何とかしてゴブー！助けてゴブー！」とのこと。

ザクラムはここがアルマーヤ帝国の首都であり帝都だと宣言。

尚、アルマーヤ帝国はアルマーヤ語という未知の言語が使われており。通貨もない。ザクラムには謎の通貨が出回っているようだ。

（依頼の経緯は、現在ホワイトやユラがゴ布林帝国にいるからのようだが……？）

## ホオヅキにて

ゴブッチョからの依頼は手紙であり、ホオヅキ内でゴ布林帝国の事情に通じた人はいそうにない。

ゴブッチョからの手紙には北の岬に来るようにと指示があった。ホオヅキの小船を借りれば問題なく移動は可能。

少しでも情報を得ようとして北方学者バルド准教授を探したが不在だった。

サフラ（機械王ライネック・フェリス・イアス）とラブフォーンを探したがやはり不在。

シェリスはユリーカの特訓をしようとお尻ぺんぺん棒を持ってうろうろしている。

リアナを探すと、赤いメイド（四天王シオン）がリアナをアルマーヤに連れて行こうと苦労しているところに遭遇。

面白いものが見られると成果を見せたがるシオンに対し、リアナはド田舎だからとアルマーヤに行きたくないようだ。

リアナを説得するのを対価に、シオンに通訳を紹介してもらうことでアルマーヤ語が使えない問題を解決しようとする一行だったが、

リアナは説得に応じず、リアナを説得できなかった一行には通訳を紹介する理由もないと、シオンも協力はしてくれない。

シオンによると、アルマーヤ語はリアナならすぐに習得できるが冒険者では習得に数週間を要するらしい。

アルマーヤでの企みについてシオンに鎌をかけるが何も教えてはもらえなかった。

一行はリアナとシオンの説得を諦め、ゴ布林帝国の北の岬を目指して船を借りて出発した。

出発に際して、ディルのEGG『キング』とガルのEGG『χ-ZARD（カイザード）』を船に積載した。

（ドックがないためメンテは不能。船が沈んだらEGGも失われる）

## 大砲と赤い大鯨

オラトリア同盟北方本拠地から9日間を経てゴ布林帝国の近海にたどり着いた。（天候は曇）

3kmほど前方にはゴ布林帝国の煙が上がっている北の岬が見える。右手5kmほどの距離にはアルマーヤ帝国のものであろう数十もの

赤い大砲が北の岬を狙って並んでいるのが見える。ディルの見積もりでは大砲の射程は500m～1kmほど。

このまま船で北の岬に進むと砲撃を受ける恐れがあるため、エイルが白飛竜に乗って安全な停泊地を探そうとすると大砲が少し動いた

ように見えた。エイルは慌てて大砲から距離をとった。大砲は動いたきりそのまま動かなくなった。ディルが大砲を観察していると、

沿岸を狙ったような大砲以外にも、履帯（キャタピラ）つきのものが見えた。

エイルが上空から北の岬から離れた場所に船を停泊させる場所を見つけ写真記憶。船に戻るために海竜に乗り換えようと海面近くまで

降りてくると、海中に巨大な赤い鯨のようなものの姿を見つけて慌てて上昇。

エイルは船に戻ることを諦めてそのまま上空を船を先導して停泊地へと向かい、船も停泊地の方へと移動した。

## 上陸と事情聴取

上陸した一行は、二機のEGGを陸に上げた。

天候は曇りで雨が降りそうな雰囲気。少し行けば森という地形。海岸線を歩いていけば北の岬に行けるだろう。

EGGは森の中や崖の下を使ってカムフラージュしておき、一度の野営を挟んで北の岬へと移動した。

北の岬に到着したのが午前十時。北の岬はあちこち地面がえぐれて、小さな火が出ていたり、砂煙があがっていたり。

地面に開いた穴から大砲の威力を見積もったディルは、弾種は分からないが大砲の威力が通常の数倍はあると判断した。

屋根が焦げた小さな小屋からはゴ布林語ですすり泣く声が聞こえる。「どうして俺ばかり…ひいん」

すすり泣いていた声は、名目上の依頼者であったゴブッチョのものだった。

一行が来たのを幸い首都へと逃げようとしたゴブッチョを捕まえて話を聞くことになった。

部隊長（将軍？）はゴブッチョを置いて先に逃げたらしいが、ホオヅキへの手紙は部隊長が送ったようだ。

描写ではヘタレっぽかったが、ゴブッチョは一応ゴ布林ジェネラルだった。長槍は帝国十本の指に入るらしい。

- ・ザクラムからの攻撃は今のところ大砲による砲撃のみ。
- ・アルマーヤ語なら砲兵でも捕まえればいいたろ。
- ・いつもは（ゴ布林帝国側が）船に乗せた大部隊で乗り込んで暴れていた。
- ・一ヶ月ほど前に見張りが赤い大砲が整備されているのを発見。様子を見に行ったら部隊長は砲撃を受けた。大砲の砲弾は赤かった。
- ・船は沈められ、海岸に偵察に行った者は化け物（魚人。顔が魚で身体は人間）に襲われた。
- ・ザクラムに住んでいるのは派手な色の服を着た人間。赤以外にも青や黄色の服を着ているらしい。
- ・ゴブッチョは現在のザクラムへの侵入方法は考えてない。諦めた。
- ・アルマーヤからは朝方はあまり砲撃をしてこない。それ以外は撃ちまくってくる。
- ・ゴブッチョが知っていおる限りアルマーヤ側の捕虜はいない。逆に数ヶ月前に侵攻した時にアルマーヤ側に捕虜にされたゴ布林はいるようだ。
- ・ゴブッチョは赤いメイドを見かけていない。
- ・ゴ布林がアルマーヤがアルマーヤ側を攻撃するのは日常茶飯事だったがいつも返り討ちにされている。
- ・魚人は海岸線に行かないと遭遇しない。魚人は大きな口に鋭い牙が生えていてゴ布林を喰ったらしい。武器はなさそう。（確証無し）
- ・ゴブッチョはアルマーヤ側に攻められることが無くなれば報酬を払うと責任をもって保証した。
- ・部隊長の部下のゴバリカが数ヶ月前からアルマーヤに取り残されている。
- ・依頼の完了報告は、北の岬の南側にゴ布林帝国の砦があるのでそこにゴブッチョの名前を出して報告すれば良いようだ。
- ・アルマーヤ側の空を飛ぶ赤黒い機体を見かけるという。詳しく訊くと、量産型ドラグーンが多いが、それ以外の機体も見かけるらしい。
- ・部隊長は現地に詳しいようだが、砦にいるとは限らず首都に報告に戻っている可能性がある。

エイルが写真記憶した視界を思い出すと、アルマーヤの南西の端には大砲は配備されていなかった。北の岬とアルマーヤ側の間の海峡の幅は1.5~2kmほど。

## 沿岸とゴ布林砦

一度、沿岸に戻ってみる。ゴブツォの隠れていた小屋は粉々になっていた。砲撃でやられたと思われる。周囲は火薬臭い。

時刻は16時くらい。海岸線は砂浜。街の方を眺めると、15~20基の砲台が見える。

そうしているうちに大砲に赤い砲弾を装填しているところが見えた。標的は砂浜の一行。

全員で退避するとさっきまでいた砂浜がえぐれるほどの大爆発が起こった。(撃ってから着弾まで約30秒)

そのままにゴブリンの砦に移動した。着いてみたら日没の時間。ゴ布林らしく小さな砦。

砦は砲台群から10km以上離れていて、付近に着弾痕はない。

ゴブリンの砦に部隊長は不在だった。コマンダーと会話をする。

- ・大怪我を負っている者がいて、話が聞けそうだが、砲台がトラウマになっているらしい。
- ・ゴ布林たちは大砲の正確な数は把握していない。射程距離も掴めていない。この砦も射程外だという保証はないようだ。
- ・砲台の再装填までの時間も分からない。体感で数分のようなが確認ができてはいないようだ。
- ・ディルの手でトラウマゴ布林を治療していると、赤い砲弾に両目と口があって、彼めがけて飛んできたらしい。

砲弾が確実に命を奪うために睨みながら飛んできたという。

・トラウマゴ布林はそれ以上は証言できずに震え出した。ディルがカウンセリングしてトラウマを治療し、ローズが歌舞で癒したが、それ以上の情報は出てこなかった。

・ディルは砲台のスペックを推定しようとしたが、訳が分からない状態だった。(砲台が未知の技術で非常識過ぎる)

その夜は睡眠をとって、朝早くにローズとエイルで砂浜の方に偵察に行く。

- ・ところどころ砂浜はえぐれ、小屋の残骸が残っている。
- ・対岸を遠眼鏡で見ると、砲台の周囲に一切人がいない。
- ・砲弾の破片と思われる赤い金属片を回収。他には残骸やゴブリンの皮膚などが残っているだけ。

それだけ見ると、砦に帰還する。砲弾と思われる赤い金属片とディルの持っているエリュティアグランデを比較すると同じ金属であることが分かった。破片に顔の名残はない。

ゴブリンの砦を出て上陸地点(船を停泊させている場所)に向かった。EGGも船も無事だった。

## 偵察行

上陸地点から対岸の上陸点まで移動するのに12時間ほど必要となる。

午前四時には少なくとも砲撃はなかった。対岸の大砲の陣地は北の岬の真北にある。岬よりも少し広い感じ。配置が南東寄りということはない。明らかにゴ布林帝国を狙っている。

大砲の射程の安全距離を10kmと仮定するとその距離を船で移動するには1時間ほど必要となる。

北の岬で砲撃を受けた時、大砲の砲撃音が聞こえてから着弾までに大体30秒だった。初速は亜音速程度。

時刻は15時。

距離10kmからの遠眼鏡を使用したエイルの飛竜による上空偵察

- ・砲台群の奥に赤いピラミッドのような建物と周囲に機械がいるのが見える。砲台群に動きは無し。

距離9kmからの遠眼鏡を使用した上級偵察

- ・大砲の周囲に人がいるのが見えるが動いているかどうかは分からない。

一旦船に戻って情報を共有してから距離5kmまで接近して上級偵察

- ・対岸の地面にあった赤い柱が浮き上がりエイルの方に接近し始めるのが見える。

砲台群も上の方を向き始める。慌てて距離を離れたエイル。砲台群の観察には失敗した。

一旦船に戻ったエイルは写真記憶で覚えた赤い柱をスケッチする。それはチェスのクイーンの駒だった。

EGGのチェスシリーズの一つであろうと一行は判断した。クイーンはキングよりも強い駒だが…。

17時頃にもう一度偵察に出るエイル。距離6kmからの上空偵察を行う。

- ・海岸にある20基ほどの砲台群の位置を記憶。赤い柱のどれがクイーンなのかもわかった。
- ・赤い柱は他にもたくさんあるが、それがEGGなのかただの柱なのかは判断できない
- ・ピラミッドの方にはあまり人が集まってはいないようだ。



## 海峡突破

この位置での日の出は午前6:10。

飲料水を補給してから見張りをしつつ、安全そうな午前四時の海峡突破のタイミングを待つ。

操舵はクロウが担当することで船を高速化。ディルとガルムはいつでもEGGを動かせる体勢で待機。

ハンスとアハトが暗視ゴーグルで両舷を監視という体勢でなるべくアルマーヤ側に刺激を与えないように静かに海峡を突破した。

遠くの方に赤い魚人がいたが、運良く襲われなかった。

【赤い魚人 カ+2大きさ+2狂気+2 レベル14 主以外の物は何でも食べる赤い魚の化物。噛み付いたら鋭い牙で決して獲物を離さないという。ディルがリアナアイランドで見た事があるものの強化版。体長は10mほどにみえる】

対岸に接岸し砂浜から上陸した。

## アルマーヤの自然と赤の脅威

アルマーヤは自然に満ち溢れていて、空気もピンと張りつめた神秘的な雰囲気。

上陸するとすぐに人の手が入っていないように見える森林地帯があり、そこに魔術で音を隠しながら防塵に気を配りつつEGGを隠した。

アハトとフォルトゥナが飛行して周囲の地形を確認。ザクラムは南東の方向にあった。この位置からでもいくつものピラミッドが見える。赤い柱やピラミッドの上の神殿、泉、穀倉地帯もあるようだ。小石や漆喰で舗装した道路まであった。大砲は上陸地点には向いていない。

空を見上げると赤い。雲も赤い。風の星霊は普通だった。(赤くない) 草についての露は赤かった。

ザクラムに向かうと周囲は緑。途中から舗装されている。

入口には暇そうなコットンシャツにロングスカート、赤いスカーフを身に着けた女がいる。エリュテシアの紋章はない。現地人のようだ。

バイリンガルにより話ができるハンスが女に通訳のできる人をと頼むと赤い神官福のエリュテシア神官を連れてきた。(メイド服ではない。赤い神官福)

エリュテシア神官セティアは一行を邪魔者と呼ぶが、拒否しているわけではない。余裕たっぷりな様子。共通語を話す。

- ・祈りの作法は、それぞれの神を祀っている神殿に向かってお祈りをする。それがザクラムでの朝の始まり。
- ・赤い神官セティアは指パッチンで、赤い雨を降らせたり止ませたりした。
- ・現地人の女は神官が雨を降らせたり止ませたりするのを見ても不思議そうな顔をしていない。
- ・現地人の言葉を教えて欲しいと言えば、「嘘を教えられる可能性はあるがそれでもよければ」と余裕を見せる。
- ・勝手に街を見てもいいか尋ねると、最後には赤に染まるから良いという。



## ザクラムの朝（地図は後ろの方に掲載）

街に入ると、ちょうど朝のお祈りの時間。鐘のようなものが鳴り響き、ピラミッドの周囲のたくさんのテントから老若男女のアルマーヤ民が出てきてピラミッドを囲む。

一つめのピラミッドから赤いインディアンのようなヘアバンドをかぶって石や鳥の羽などで作った服を身につけた高貴な人が出てきた。雨の神タカワカクの神官。数分くらいのお祈りが行われるが、**神殿の入口の両脇には赤い神官（おそらくエリュティア）が立っている。**

タカワカクのお祈りが終わってから、

二つめのピラミッドから頭に赤い鷹の被り物をかぶった男が出てきた。

トウモロコシの神チャルニアの神官。お祈りを行う。

チャルニアのお祈りが終わってから、

三つめのピラミッドから不気味な赤い仮面をかぶった男が現れて叫んだ。

赤豹神カフペチュの神官。お祈りを行う。

カフペチュのお祈りが終わってから西の方から偉そうな女の声が響く。

最高神カシャクトゥン。アルマーヤ住民が上空を向いてお祈り。

住民はピラミッドの周囲のテントに住んでいるようだ。

木々が多いが、緑が少し黒っぽくなってきている。

セティアは神秘の祈りへの反応を楽しんでから去って行った。街のあちこちに赤い神官がいる。**赤い神官は女が多いようだ。今のところザクラムに赤いメイド服はいない。**

最寄りの神官を探すと愛想の悪い赤神官がいた。この神官も一行を邪魔者と呼んだ。四天王シオンから邪魔者と聞いたらしい。宿がないかを聞いたが**この街に宿は無いから南東の今は使われていない神殿に行け**と言われた。**客を招く機能があるのは神殿（ピラミッドの上にある）だけらしい。**去り際に地面に唾を吐いた。

そこで、街の南東にある古代のピラミッドに向かった。途中、**占星術の建物にとんでもない列が並んでいた**のが見えた。



## 古代のピラミッド1

古代のピラミッドに来てみると、中に人が入った形跡がある。

中からは人の臭いがする。ガルムがまず入ることとなった。

それ以外の一行はピラミッドの下で待つ体勢。

ピラミッドに足を踏み入れたガルムはいきなり四方から取り囲まれた。

暗がりの中だが、**相手は四人の神官で怒っているような様子。**

**訳の分からない言葉（アルマーヤ語）で何か言っているようだ。**

戦闘が開始された。



### 1ターン目

ガルムは明鏡止水とハイパーパーサークと三戦立ちを宣言。手加減攻撃をする体勢。

神官たちは赤の神秘を宣言。四方から武器を掲げながら魔術のようなものを飛ばしてきた。**魔術の固定値は11。**

**神官A：ダメージと麻痺のバッドステータスを与える魔術**

**神官B：受けるダメージが+3される呪い**

**神官C：何も起こらなかった（何が起こったのかが分からなかった）**

**神官D：魅了して洗脳する魔術**

AとDは回し受けで完全回避して、Bは抵抗に失敗した。

ガルムが反撃で布剣で薙ぎ払うと命中（**回避固定値10。ダメージは30点ブラスト**）**四人とも転移をして消え、戦闘終了。**

戦闘終了後、一行が合流する。ガラムはBの呪いを受けた自覚がない。  
星霊術で灯りをつけると、漆喰の壁面にはびっしりと象形文字が並んでいる。石碑もあった。  
現状で神学的な解釈はできそうにない。  
床には壁の片方に寄せて汚れた縄がいっぱい落ちていた。長さは2m~10m。縄からは血の臭いがする。普通の首吊りに使うなら縄に血はつかないはずだが…  
ルルカがバベルを使って象形文字を解読する。それによると——  
【ネフィリムは自殺を司る女神であり、死者を楽園に導く役割を持っている。楽園にいけるとされるのは聖職者や戦死者、いけにえ、自殺したものとされる。縄で首をつって自殺するというのは誇り高き死に方といわれている。ネフィリムは首を吊った女の絵で大きく石碑に描かれている。ここは自殺の女神の神殿である。他にも自殺したものは死後楽園にて幸せに幸せに暮らせるとかいろんな誘い文句が書いてある】  
室内に魔力の流れはほとんど残っていない。床に少し残っている程度。  
天気は赤い晴れ。魔力を視ようとすると目が潰れる。  
空は真っ赤というほどではなく夕焼け空のような色。赤い雲がなければ青空になりそう。

## ザクラムの街全体探索1

中央部ピラミッドゾーンは、ピラミッドの周囲にテントが点在していて住民がその中で食事をしている。  
そこらじゅうの岩に赤や赤紫の色がぶちまけられている。古代のピラミッド以外のピラミッドは真っ赤。  
大ピラミッドも海岸のピラミッドも既に赤い。赤い柱は主に海岸地方にあるが大ピラミッドの周囲にもある。  
処刑場には量産型ドラグーン2機が置いてある。(広いから駐機場?)  
テントの辺りでは主婦が立ち話をしていたり、子供が遊んでいたりする。  
主婦にとっては雨が赤いのは当たり前ようだ。赤は良いとも言っている。(既に深度が2以上?) 赤いトウモロコシを薦められる。  
赤い塩をかけるとなお美味いらしい。最初、ガラムの耳に少し驚いていたようだが、ローズの羽根にもすぐに慣れた。  
占星術の館の占いは(占料が)けっこう高い(赤金貨をとられるので庶民には手が出ない)がよく当たると評判。フォールという名前。行列が長い、中には赤金貨のことを知らずに並んでいる人もいたようだ。(普通の金貨は知らなかった)  
赤い金貨は泉の周りの商人が交換してくれる。  
ザクラムの街は何代も(おじいさんのおじいさんのおじいさんくらい)前からある古い街らしい。  
古代のピラミッドは、主婦によると遺跡のようなものらしい。古代のピラミッドに詳しいのは各神殿(ピラミッドの?)の神殿長かザクラムの街を治めるセベル女王。神殿長は最近では外では見かけないし、女王に会うなんてとんでもないことらしい。  
ゴブリンたちはたまに攻めてきては神殿の人たちに撃退されていて、風物詩になっている。街中にもゴブリンが侵入するがすぐに捕まってしまう。どこに捕まっているかは分からない。アルマーヤの神秘を味わわされてから返される。  
EGGは神殿の人たちが作った守護神だと思われる。  
立ち入りが禁止されているのは、大ピラミッドへの道、海岸ピラミッドへの道、古代以外の各神殿。  
海岸と古代のピラミッドに行くことは禁止されていない。  
赤いものや像、柱、象形文字の台座は壊してはならない。  
処刑場は(セベル女王がザクラムをアルマーヤの首都にするために)たまに発生する他のアルマーヤの都市と戦争した時の見せしめに使われる。

## 処刑場1

首吊り用の器具が五つ。首吊り器具を挟むように量産型ドラグーンが2機。赤神官が二人、現地人神官が二人。  
現地人神官はガラムを襲ってきた神官たちに似ている。ロープからは血の臭いがする。  
現地人は赤いEGGを物珍しそうに見ている人くらいしかいない。ガラムの耳が話題になっている。  
古代のピラミッドに戻ろうとするとメルヴァがついてきた。

## 南西の泉1

現地人の店では黒光りする鉱石やピンクの塩やトウモロコシが売られている。主食はトウモロコシらしい。  
シオンの店もある。色々売っている(リストは後の方に作成)が、EGGが2機待機している。  
何か目立つことをすればシオンに覚えてもらえるらしい。

## 岩石地帯の探索1

岩石地帯まで片道30分。道は整備されているが、赤や赤紫の染みがぶちまけられている。塗料のようだ。

魔力を視ると目が潰れた。辺りは真っ赤で染みはさらに真っ赤。染みの量はザクラムの街からの距離に反比例して減っていく。

周囲にはトウモロコシの臭い。トウモロコシの芯がそこらに捨てられている。

岩石地帯に到着すると、男たちがピッケルで色々な何かを掘っている。黒く光る鉱石が出ると周囲が湧いた。その鉱石を引き車に乗せて運んでいる。まだ朝なので鉱石はあまり溜まっていない。黒い鉱石の欠片は見当たらない。

岩石地帯は比較的赤に染まっているところが少ない。

火山地帯のようだ。

言葉が通じずそれ以上の情報は得られそうにないので戻ること。

## 古代のピラミッドに集合1

全員集合しているところにメルヴァがついてきた。

メルヴァはフィミアを探しているようだったが、フィミアはいなかった。初対面の人がそれぞれに名乗りあった。

作戦（全神秘丸呑計画）の詳細はメルヴァはよく知らないがシェルディナやアキが知っているらしい。言葉は何とかしろと言われる。それぞれ言葉についてカマをかけるが、メルヴァにはぐらかされた。

メルヴァは重要なところ（どこかのピラミッド）を守っていて、シェルディナは核心のところにいるらしい。

シオンは歌というか芸術が好きようだ。

## 南西の泉2

泉の色は薄いピンク色。水温は冷たい。泉の大きさは直径20mより若干大きいくらい。

水を汲んでいる人が多い。その場で飲む人も、入れ物に入れて持ち帰る人もいる。

水を飲んでいる人たちは、視た感じでは洗脳されているようには見えない。

ローズはシオンに歌うことを申し出て、泉の中央に浮かびながら歌を披露する。

ローズの歌はシオンや聴衆を魅了した。聴衆は涙を流す者もいてシオンも目頭を押さえていた。

シオンはローズに紅白金貨を1枚渡し、ローズの名前を覚えた。聴衆に取り囲まれたローズ。

どうやらシェルディナも歌は好きらしい。最近イライラしているようだ。

## 森経由北東の泉1

森を突っ切ろうとすると、赤い蜂に襲われた。

災害察知に成功しても襲われる。（失敗すると蜂の数が増えるのかも）

それぞれの蜂は独立攻撃なので途中で切り払ったら止まるということはない。

蜂に刺されるたびに50%の確率で深度が上がる。

9回刺されたガラムは深度が5上昇。1回刺されたディルは深度は上がらなかった。

北東の泉に着くと、そこでは赤いトウモロコシや蜂蜜、刃物を売っている。

ガラムは共通語を話してくる赤い商人ギリアからサービスで出された赤いトウモロコシを喜んで食べた。ガラムの深度は上がらなかった。（元々の深度が低い場合はトウモロコシでも深度が上がるかもしれない）ギリアの店の商品は後ろに掲載。

北東の泉では赤い金貨への交換はしていないようだ。EGGはいない。

ギリアによると、エリュティア関連の人でこの街に来ている人は全員アルマーヤ語を話せるらしい。

ギリアはいつでも大きな赤い蜂を呼び出せるようだ。

ギリアの知る限り古代のピラミッドにはエリュティアの人には行かないようだ。

泉の水の色は薄いピンク。水温は25~30°Cほど。来ている人は普通に見える。

ガラムは赤金貨2枚で赤が強い派手な服とインディアンのような被り物とアクセサリ数点を購入。さらにギリアに爪と服にレッドペインターをかけてもらった。（最初に身体にレッドペインターをかけられて混乱したが、すぐに治してもらった。色は無無明厄無で解除）

ピアスは売っていないようだ。ディルは赤金貨1枚でマントを購入。



## 分散

一度、古代のピラミッドで集合して、一行は二つに分かれた。

ガラム・クロウ・セフィ・ディル・ハンス・（フラウ）が森の方へ探索に行く。（森組）

ローズ・ルルカ・エイルは街の方へ探索に行った。（街組）

## 海岸と海岸ピラミッド（森組）

森に入って海岸に向かう。森の中はピンと張りつめた雰囲気。赤くない犬がうろついているくらい。

数十分ほど歩くと海岸へ行く道に出た。ゴブリンの臭いはない。大砲を撃つ音が聞こえる。

さらに海岸に近づくと赤いクイーンの形をした柱（EGG）が目立つ。大砲の演習をしているようだ。

赤い騎士カガミが砲術教官をしている。（ハイテンション）

崖の上からのぞいていると、演習に参加しているのはアルマーヤの神官や赤い神官たちのようだ。

カガミに話しかけてみるとリベンジの機会を待っていたらしい。アルマーヤ語は一週間で覚えたという。

景気よく大砲を撃っているが、アルマーヤ帝国を統一するには圧倒的な武力と神秘が必要らしく、戦争の準備ができれば打って出るつもりとのこと。ゴブリン帝国を砲撃しているのは、ただの演習目的らしい。ゴブリンの捕虜はきっちり洗脳している。

カガミに勝ったら色々教えてくれるというが、カガミが合図をするとクイーンが変形して臨戦態勢になる。巨大な赤い槍が目立つ。装備は超大型ランサー・圧縮大型ビーム砲・フェザー・パンツァーフアウストなど。キングよりもダメージは大きそうだ。

ガラムの深度が深いため赤いものに攻撃することができず、勝算がなく撤退。カガミに嘲笑と挑発をされた。

そのまま南西の泉に向かうと海岸ピラミッドの近くに出る。海岸ピラミッドは警戒厳重で赤い神官がたくさんいる。

海岸ピラミッドの上には神殿は無く、代わりに偉そうな男の像がある。槍を持った部族長のようだ。朝に見かけた神殿長とは似ていない。足元に象形文字で『創造神の像』と書いてある。

## 街の周囲を回る（森組）

南西の泉を迂回して大ピラミッドへ行くと、こちらも警戒が厳重。守っているのはアルマーヤ神官たち。

大ピラミッドの上には、ザクラムで一番大きな神殿がある。

そのまま大ピラミッドの裏を通して街の周囲を回ると灌漑農地の西付近の森の中で泥の形のはっきりしない駆逐型シンカーを発見した。相対距離は10mほど。他にシンカーの姿はない。ガラムとディルのレベルは無効にならなかった。赤い世界が形成されない。

ディルの投擲によりあっさりシンカーは泥の形を保ったままで地面に沈み、シンカーの欠片が残った。

戦闘後、灌漑農地へと移動。灌漑農地ではわらぶきやコーヒー豆が栽培されている。農民に話しかけた。

- ・アルマーヤによそ者が入ってくることは珍しい。よそ者が農地に入ってくることはない。
- ・農民は魔物といっても野良犬くらいしか見ない。シンカーなど見たことはないようだ。
- ・ゴブリンは昔はよく来ていたが、モカは飲まない。モカは泉の周りで飲ませてもらうと良い。
- ・藁ミノは金貨1枚で持って行き放題。
- ・海岸ピラミッドの像は創造神の像。創造神がいるから農産物が豊作になる。お祭りなど恐れ多い。遠くからお祈りするだけ。
- ・大ピラミッドはセベル女王の住む神殿。いろいろ忙しいらしい。セベル女王はお祈りの時は荘厳で凛々しいが、アルマーヤ民に話しかける時には笑顔を見せてくれる。最近はないが偶に見回りをすることがあった。
- ・神への捧げものは女王や神殿長がやるらしい。
- ・古代のピラミッドにずっといると自殺したくなって死んでしまう。（ガラムを襲ってきた神官は）自殺防止のためにいたのではない。襲ってきた理由に、農民は（自殺防止以外の理由は）心当たりがない。
- ・農民のところでは泊められない。家（テント）を建てればいい。
- ・空が赤いは普通のこと。（雲は風で流れるが、ゴブリン帝国では雲は赤くなかった）
- ・赤い神官も普通の（現地神殿の）神官もいるのは普通のこと。
- ・ゴブリンが攻めてこないように警備の神官がいる。
- ・（守りを固めなくても元々ゴブリンを寄せ付けなかったようだがという指摘に）女王の方針が変わったかもしれない。

灌漑農地での農民との話を切り上げ、森を突っ切って北周りに穀倉地帯まで移動する。

穀倉地帯ではトウモロコシ栽培がおこなわれていて、赤い神官や現地の神官もいる。奥には網で区切られた養蜂場がある。

養蜂場の近くを避けて街中を經由して岩石地帯に向かった。

## 岩石地帯の探索2（森組）

岩石地帯に向かって歩いていく途中に赤や赤紫の色の散布具合を調べていく。街から15分ほど歩くと散布具合が減ってくる。

赤はミスティックレッドペインターだった。ミスティックは【神秘的】という意味。

【ミスティックレッドペインター 上位版レッドペインター。任意の物体を赤くする、あるいは決まった面積を赤くする。赤いペンキを塗ったような状態になる。服や装備に用いた場合、適時赤を基調としたカラーリングに変更される。定期的に塗りなおす必要はない。塗られたものは赤い神秘に包まれる】

神秘の内容は場所による。

赤紫についての知識判定への賢者の眼鏡使用はGM権限により却下。（6,6で効果判明）手近な赤紫塗装についての知識判定は軒並み失敗。色が混ざっているように見える。

さらに東に向かうと炭鉱夫たちとすれ違う。炭鉱夫に話を聞いた。

- ・黒曜石とターコイズ（トルコ石）がザクラムの炭鉱の名産品。赤いのは普通。赤紫はよく分からない。
- ・東の方にある火山の名前はゲヘナ火山という。（由来は不明）火山には危ないから登らない。ここ10年は噴火していない。3時間ほどで登ることができる。
- ・赤は神官が塗っている。
- ・街中にテントを張るのは別に良いが神官に言っておくとい。
- ・古代のピラミッドは15年ほど前に捨てられたピラミッドだからよく分からない。
- ・赤い神官がいつから来たかは覚えていない。いるのは当たり前。

## 占星呪術師フォール1（街組）

言葉の壁の謎を解こうと街で赤い神官を観察する。

アクセサリや仕草などに秘密があるのかとヤマをかけるが、共通するアクセサリも現地人と話す時に特徴的な仕草もなかった。

オーディンに神託を仰いだが、教えてもらうか魔法を使うしかないとのことだった。

占い館の方に行ってみると、お昼時でやや列は短め。占星術はアルマーヤ人の得意技らしい。

人気は一人に集中しているようでそこだけが長い行列になっている。象形文字で『占星呪術師フォールの館』と書いてある。

掘っ立て小屋の占い師たちにはあまり人気がない。

思い切ってフォールの列に並ぶと30分ほどで順番が来た。入口に料金などは書いてない。

館の中に入ると、テーブルの上に赤い水晶玉。赤いフードをかぶった女が妖しい笑みを浮かべて座っている。

館は占いをする部屋ともう一つ奥に部屋があるだけ。占星呪術師フォールの正体は赤い魔女アキだった。

普通に共通語での会話が始まる。

- ・ホオヅキの子から料金を取る気は無いらしい。
  - ・脳内を弄ってアルマーヤ語を話せるようにしてあげようか、と挑発される。
  - ・リアナを連れ出すことに失敗したことで見下されている。リアナは気まぐれなので来るかどうか分からない。
  - ・シェルディナはピラミッドを転々としている。
  - ・赤い神官が全員アルマーヤ語を話せるのは勉強のお陰。最初に覚えたのはアキ。
  - ・勉強のコツを聞くと、危ない薬を飲みながら勉強すると良いと小瓶に入った怪しげな赤い薬（液体）が出てきた。見た感じ、飲むと脳内麻薬がたくさん出そう。ルルカがもらった。
  - ・エリュテシア神殿の目的はアルマーヤにある色々な不思議な神秘を全てもらうこと。
  - ・神秘とは説明がつかない不思議なこと。例えば、相手の考えていることが分かるなど。
  - ・すでに手に入れた神秘もある。その身で味わいなさい。
  - ・水晶玉は占い用。催眠洗脳なら目を見て魔法でイチコロ。
  - ・街の外にうろついているシンカーを退治したら、欠片を赤金貨で買い取るとのこと。
  - ・シンカーが出るようになったのは最近のことで理由は分からない。リアナも教えてくれないという。
  - ・（エリュテシア神殿は無自覚にシンカーを呼び寄せるようなことをしているかも？ 一話と二話にもいた）
- そして、いったんアキの占い館から立ち去って南西の泉に移動した。

## 南西の泉3（街組）

《未開分岐分》

古い館を出てから南西の泉に移動する。

アキからもらった薬を鑑定した。

**【赤いスマートドラッグ】頭の回転が異常に早くなり、集中力も異常に上がる薬。1時間の間、知力+12（限界を突破する）。深度が8になる。**

・火山地帯で黒曜石が採れる。黒曜石はエリュテティアでも赤く染めることができない。黒を赤く染めるのは労力がかかり過ぎるかららしい。

・アキの薬をシオンの店で飲んででも暴れたりするような症状は出ないようだ

・シオンの店の商品の鑑定を行った。へし切長谷部以外は成功。鑑定結果は後ろの方のリストに掲載。

・**シンカーが主に出没するのは街の北部や北東部。時期は1~2ヶ月前から。色々と企んでいた時期。人手が足りないので殲滅型や決戦型が出たらエリュテティア神殿も困る。**

・シンカーが現れるのは火山帯が多いという話をしたら、火山は星の力だからシンカーも出やすいのかもしれないとシオンが半分同意の雰囲気。

・シンカーは星の免疫。

・リアナなら決戦型でも一瞬で退治する。シオンたちはまだ決戦型は見えていない。

・周囲の店を見ると、赤くないものとしてターコイズが目立った。

・アルマーヤ語以外の会話がなかったか耳を澄ませたが、シオンが赤い神官だけ。アルマーヤ民はアルマーヤ語しか話していない。

・今回、シオンの店は比較的暇だが、儲けたくて来たわけではないので問題無いらしい。シオンはリアナを待つためにここにいるらしい。

ローズはアルマーヤモカとアルマーヤ塩と現地のターコイズでできたアクセサリを購入。

エイルは黒曜石のナイフ（非武器）とターコイズのネックレスを購入。

黒曜石を使った服は売っていなかった。服で多いのは獣のかぶりものと鳥の羽を使った物。

泉で見るものもなくなったので穀倉地帯に移動する。

## 穀倉地帯経由北東の泉（街組）

《未開分岐分》

穀倉地帯ではトウモロコシ栽培がおこなわれている。それを現地の神官や赤い神官が見ている。

現地の神官は祈りを捧げたり農夫と会話をしたり。赤い神官は赤い神官同士で話していたり、ぼっちだったり。

養蜂場の近くは蜂が飛んでいるが、現地人たちは刺激しなければ平気と別に怖がってはいない。普通に歩いているなら大丈夫だとのこと。

養蜂場自体はちゃんと網で囲まれた区画だが、養蜂場の外を飛んでいる蜂もいる。

現地人はそれなりに赤い服を着ているが、いろいろな色があってその中に赤も混じっている感じ。

**なるべく蜂を刺激ないように北東の泉へと移動するが、やはり蜂の襲撃を受けた。**

運が良かったからか蜂に刺されたことによる深度増加はなかった。（判定は行った）

北東の泉の赤い商人ギリアに蜂除けがないか尋ねるが、**命令を受けたギリアが邪魔者を狙って赤い蜂で刺しているから、蜂除けに使えるものはないとのこと。**赤いマントでの対策は良い線行っていると言われた。（有効だとは言っていない）

賞品のラインナップに超エリュテティアバスタードソードが追加されていた。ロングスピアとバスタードソードの鑑定を行うが全員失敗。

敢えて空気を読まずにローズに赤いトウモロコシを薦めることで馬鹿にして楽しんでいるギリア。

そんなことをしているうちに日が落ちてしまった。養蜂場の奥にも人がいるようだったが話に行けずじまいで終わる。

## 古代のピラミッドに集合

森組が戻り際に街の人にテントを建てていい場所を聞いたらピラミッドの周囲なら問題ないとのこと。

古代のピラミッド近くに6人用テントを二つ設営した。

ガルムは何かが起こらないかと古代のピラミッドの中で昼寝をしたが特に何も起きなかった。

そこに街組が合流する。各々情報共有をする。

セフィがガルム以外の全員にウォーター・セラピーをかけておく。（ガルムには既に一度使っていた）

夜は雨が降りそうな空模様。そのまま見張りを立てて就寝する。

## 夜間砲撃と神殿の不和？

空は赤い月が光る暗い夜に。午前0時ごろに大きな音が鳴り響いて、見張りが全員を起こす。

それは、**古代のピラミッドが砲撃を受けた音**だった。

ルルカが**ファミリア（フクロウ）を飛ばすと海岸方面からの砲撃だと分かる。**

さらにファミリアを接近させると履帯（キャタピラ）のついた大砲がこちら側（街の方向）から別の方向に向くのが見えた。

**大砲の周りには演習の時と同じくらいの赤い集団が見える。**そのままフクロウに大砲の方を監視させる。

それと並行して全員で古代のピラミッドへ移動。**古代のピラミッドは上の神殿が一部壊れて燃えている。**

ガラムが水の精霊を使って消火。エイルが崩れた神殿を調査すると、**神殿の内部の1/4（南西側）が崩れ落ちている。**

エイルとディルとフォルトゥナと、ルルカが起動したストーンゴーレム2体で神殿の瓦礫の除去を行う。（50分ほど使った）

**瓦礫を除去していると黒い宝石の欠片が見つかる。黒曜石とも違うようだ。エイルがマテリアライズで修復すると黒く丸い宝石となる。力を出し尽くした魔唱石とも似ているがそれとも違う。白本にこすりつけても少し黒い砂が写るだけだった。**

**Dセルを近づけても何も起きない。パスマンタルの要領で力を送ろうとしても無駄だった。ライトをかけると灯りはつくがそれだけ。**

**瓦礫を除去しても隠し部屋や通路は見つからなかった。**

**現場に駆けつけて20分ほどすると、身長150cmほどの赤いフードを付けた赤い神官が一人駆け込んでくる。**

**赤い神官はダークエルフ。エリュティア神殿のナンバー6のザラと名乗った。**よく見たら穀倉地帯でぼっちだった赤い神官だった。

・**ザラは今回の計画を潰して欲しいという。現四天王が邪魔。これまでも計画失敗しているし今度も大失敗させて失脚させたい、**

・**シェルディナは教主だからだめだろうが、アキの計画を失敗させたい。そして、ザラが新四天王の座に就きたい。**

・**砲撃を行ったのは多分カガミだろう。**

・**四天王の狙いは赤い結界をアルマーヤ全土に広げること。赤い結界は結界内にエリュティア（リアナ）の力を浸透させるためのもの。記憶を改ざんしたりする。エリュティア神殿のアルマーヤでの活動開始は3ヶ月前から。**

・**赤い結界の中ではシンカーによるレベルの無効化は発生しない。**

・**ザラは嘘をついているようには見えない。**

・**ミスティックレッドペインターを消せば良い（赤い結界を破壊できる？）。**

・**ところどころに塗られていた赤紫は元々青かったのを赤く染めたもの。青がどのような力を持っていたかは不明。神秘？**

・**ザラは四天王追いつ落としの話は非四天王派閥には言っていた。穀倉地帯にいるのは大体非四天王派閥。（全員ではない）**

・**四天王は特別にエリュティア（リアナ）の寵愛をかわるがわる受けている、とザラは思っている。**

・**シェルディナの企みを止めたら紅白金貨5枚くれるらしい。シェルディナは14時には就寝する。**

・**作戦は『ザクラムでのレッドペインターには特別な効果があり、消すか上書きすることで宅退化させて、ぶっ叩く』**

・**ザクラムでのレッドペインターは、アルマーヤの他の都市での場合と効果が違うらしい。なお、ピラミッドはアルマーヤの他の街にもある。**

・**EGGにレッドペインターをかけていたのはシェルディナやアキだった。**

・**塗り替えられないものがあればいいのだが… ←黒曜石が有効か？**

・**赤を黒く塗り替えたとしても結界自体は変わらない。ただ、個々は弱体化する。**

・**結界を壊す方法はホオツキの冒険者に考えて欲しい。**

・**赤豹神の神殿にゴブリンが一匹捕まっていた。火山に何があるかは知らない。**

・**赤豹神の神殿に行くなら、神官になりたいとか捧げものをしたいとか言えば良いのではないか。**

・**放っておくとアルマーヤ帝国がエリュティア帝国になってしまう。**

・**ザラとコンタクトを取りたい場合は穀倉地帯に来ること。**

・**アルマーヤ語を覚える近道はない。ザラはシェルディナの特訓で6日間かかった。**

・**アキの催眠に対抗するには、目を見ないことと強い精神力が大切。**

**かなり騒がしかったはずだが、街の方からはザラ以外誰も来なかった。**

ザラが戻ってからガラムはピラミッドの方に行ったが街は静かで、ピラミッドにも数人の現地神官と赤い神官が見張っているだけ。

**現地人のテントは窓らしきものはあるが、普段は布や皮で塞がれて、内側から捲ることで窓になる。**

テントの方は見張りを立てて午前4時まで睡眠。

## 早朝の海岸

ローズとディルとエイルとで早朝の海岸に行く。

誰もいないかと思われた海岸だが、メルヴァが大砲の上またがって暇そうにしている。見張りをしているつもりではなさそう。砲撃があったことは知っていたようで、生きてたかー、と軽口を叩くメルヴァ。

- ・朝方は大砲部隊は休みらしい。カガミが睡眠をとるからというのがその理由だった。
  - ・メルヴァも朝になったら寝るつもりらしい。シェルディナが夜行性なのでそのサイクルに合わせているようだ。
  - ・古代のピラミッドに一行がいるとカガミに言ったのはメルヴァだった。カガミは単純なので断罪の気分だったのだろう。深夜の砲撃になったのは寝込みを襲いたかったからだろうとメルヴァは解説。
  - ・エイルが写真記憶していた砲台の位置とは、履帯（キャタピラ）がついた大砲の位置が変わっているだけで、クイーンの場所も他の砲台の位置も変わっていない。大砲周りは片付いた感じで、特徴的なものはない。周囲に赤い柱はあるがクイーン以外はチェスの駒の形をしていない。他の柱は石の柱を赤く塗ったものようだ。
  - ・暇なので、（第二話で抵抗に成功した）ディル以外の一人を呪っていいなら良いことを教えてやろうというメルヴァ。呪いの内容は一日の間、瀕死になって苦しむもの。抵抗しても良いと言われ、エイルが挑戦し、抵抗に成功する。
  - ・メルヴァは本気の本顔で警告する。『今回のシェルディナは本気だ。あいつと戦うなら、最大限の準備をしろ… 今のあんたらじゃ殺されるぞ』
  - ・シェルディナがリアナに『シェルディナ、貴女のする事って詰まらないわねー』と言われてしまったことが原因なようだ。
  - ・シェルディナを止めて欲しいわけではないが、ホオヅキの冒険者はメルヴァたちの良い遊び相手だから無様に死んで欲しくないようだ。
  - ・ディルはメルヴァに暇潰しにと釣り竿を貸す。返すという口実でリアナのいるホオヅキに行けるのはまんざらでもない様子でメルヴァ。
  - ・メルヴァ以外にも見張りはいららしい。（生きてる砲弾？それとも、他に何かある？）
  - ・よく魚人に船を喰われなかったと笑うメルヴァ。魚人はアキが実験施設から連れ出した、元はシンカーの欠片を少し与えた魚だった。
  - ・ローズが歌う。メルヴァにもそこそこ響いたようだ。シェルディナもその歌を聞いて少しは余裕を持てばいいのにと心配するメルヴァ。メルヴァは人間だから響いたのかもしれない。アキはシャドウだとのこと。
- そこまで会話をしてからテントに戻った。

## 分散

朝、テントで行先別に二つに分かれた。（セフィは途中まで鑑定組と一緒にだったが、目を引く色を確認後神殿組に合流）

神殿組：ガラム・セフィ・ハンス

鑑定組：エイル・クロウ・ディル・ルルカ・ローズ

待機：フラウ



## 赤豹神殿（神殿組）

神殿に行く前に街のおばさんを捕まえて神殿への捧げものは何が良いかを聞いていく。美味しい食べ物やお酒や赤い金貨が良いらしい。

赤豹神殿に行くと、入り口には現地神官と赤い神官が一人ずつ。

現地の神官にお奨めの捧げものを聞くと、宝石や赤い金貨や珍しいものだとのこと。赤大金貨を見せると神殿の中に入れた。

赤豹神殿の中は現地神官と赤い神官でいっぱい。奥の方にはご神体（赤い豹）がある。

神官たちに交じって赤い羽根飾りをつけたゴブリンがいた。ゴブリンはやせ形できりっとしていて、まじめな顔で現地神官や赤い神官たちと話している。

ご神体のところで現地神官に作法などを確認してお祈りをする。三人で赤大金貨2枚とマジックブースターと赤いビー玉を捧げた。

赤豹神殿の神官長と会話をする。

- ・（ゴブリンから侵略を受けていたが）基本的に侵略などをうけても、敵意がなくなれば神秘に包まれるのみ。
- ・ゴバリカは既に立派な神の信徒。
- ・ご神体は赤豹の像。とても誇り高く立派であり、勇猛であり、自分もこうなりたいと少し思うかもしれない。
- ・（神秘とは何か？の問いに）あの赤い豹のご神体を見れば、わかるであろう。ゴバリカは数ヶ月前までは侵略者だったが、今では考えを改めている
- ・古代のピラミッドは色々あって神秘が消えてしまった。神秘が残っているのは、海岸ピラミッドと大ピラミッドと（雨・トウモロコシ・赤豹の）三連ピラミッド。
- ・東の火山は神聖な場所というよりも危険なため禁足地。ここ二十年ほどは火山も噴火していない。しかし、理由は分からないが行方不明者が出ている。その問題を解決したら神秘についてもっと教えて欲しいと取引を持ち掛けたら、そのようなことは女王と話すようにと言われる。

・ここ一ヶ月ほど、女王は遠くに声しか聴けていない。

神官長との話が一段落して、今度はゴバリカに話を聞きに行く。ゴバリカは流暢なアルマーヤ語で話す。

- ・数ヶ月前はゴブリン帝国の軍にいて、ザクラムに攻め入ったが、神秘に包まれたため、神殿で働くようになったという。
- ・今はゴブリン帝国に戻るのではなく、ザクラムに来たゴブリンに神秘の素晴らしさを伝えるつもりだという。
- ・ゴブッチョは副将軍で副隊長だったと、覚えているゴバリカ。
- ・神秘は心を落ち着かせ、平穏してくれる全てのものを言う。ゴバリカは神秘をアルマーヤに、ザクラムに、教えられた。
- ・アルマーヤ語はいつの間にか話せるようになっていた。最初は身振り手振りだったが、大ピラミッドで見かけた一部の者はゴバリカの言葉の意味が分かったらしい。
- ・今は大ピラミッドは、ザクラムの神秘をほかの都市に伝搬させるためなかなか入ることができない。唯一神に祈りを捧げたい。
- ・大ピラミッドに行きたいなら創造神の像を調べて来いと言われる。その結果によってはゴバリカが何とかするらしい。
- ・ゴバリカは数ヶ月前まで創造神の像などなかったと言った。

ガラムはゴバリカに名乗ると、赤い大雨の中、海岸ピラミッドへ移動する。移動中にシェルディナとは会えなかった。

## 大ピラミッドから海岸ピラミッドへ（神殿組）

大ピラミッドの前に来ると、赤い大雨のせいで見張りの現地神官は入口に引っ込んでいていなくなっている。

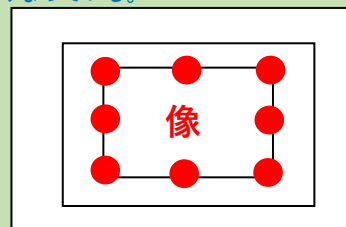
海岸ピラミッドは赤い大雨が降っているのに、周りに赤い神官がいっぱいいる。

海岸ピラミッドは高さ30mほど。創造神の像まで行くには見張りは8人。

四角の角部分と四辺の中点。

30mほど階段を登れば行けそう。階段以外も登れる。

それだけ確認してテントに戻った。



## 南西の泉4（鑑定組）

泉への道の途中で目立った色を探してみると、赤以外は、赤紫と水色（ターコイズ）くらいしか見当たらない。

南西の泉ではクロウがへし切長谷部を賢者の眼鏡を使用して鑑定する。（結果は後ろのリストに記載）

ローズは今日も歌を歌う。本人的には納得いかない出来だが、それでも現地人には喝采を浴びた。

現地の聴衆に訊くとザクラムに独自に伝わっている歌はない。お祈りの時にあげる叫びくらい。なので、**ザクラムの神秘は音楽にはないとも言える。**

スインカーの欠片の買取はシオンの店でも可能。欠片一つで赤金貨1個ほど。

シェルディナの計画は、リアナが喜ぶならそれで良いが、そうでないのなら…と、シオンは語尾を濁した。

逆に、ホオヅキの冒険者に協力することでリアナが喜ぶようならどうするかと聞かれ、それは貴女方（冒険者）の方がよく知っている、はぐらかされた。

シオンは襲われない限り中立。ホオヅキの冒険者に味方する者がいても見なかったことにする。

ギリアとシェルディナの関係についてはノーコメント。

シオンの店には赤い蜂対策になるものは売られていない。

ルルカはシオンに赤い金貨のレートの下げ交渉。条件によってはとシオンが言い、ならば演奏の出来で決めるのはどうかとエイルが提案。シオンはエイルの演奏が昨日のローズの歌の出来を超えたらと条件を出す。エイルは昨日のローズと同じ達成値を稼いだため**シオンが折れて赤金貨のレートが値下げとなった。**ローズとエイルがひと時のライバルに。

シオンに挨拶をすると、穀倉地帯へと移動した。

## シェルディナ遭遇（鑑定組）

穀倉地帯に行くと、赤い神官たちがいて、その中にザラもいる。

神官たちの話を拾おうと耳を澄ませていると、**赤い和服の女が一人いた。**

会話に耳を澄ませるエイルを睨みつけてくるあいあい瞳に思わずエイルは視線を逸らした。

赤い神官たちとの会話を終えた赤い和服の女が近づいてくると、意を決して会話を試みる。

開口一番に**外で合っていたら死んでいたと告げる和服の女。こちらにはシェルディナに面識のある人が一人もいなかった。**

名乗ったり名前を聞いたりしてくるとは勇気があるなど、威嚇しつつ**赤い和服の女はシェルディナと名乗った。**

**リアナお姉さまにお世話になってますと言ったルルカは、（痛に障ったのか）シェルディナに睨まれて魅了されてしまった。**ついでに深度も7になった。すっかり魅了されたルルカはリアナよりもシェルディナが良いかもと言わされてしまう。

続いて**ルルカは一行がシェルディナの邪魔をしないように見張るように命令されてしまう。**ルルカが連絡先を聞くと暗黒大陸の神殿に來いと論点を外される。今は忙しいからと、**シェルディナはルルカの頬にキスをした。**

ローズは、**歌は落ち着いたら聴いてみるのも良いと言われる。（今は聴く気がない）**

エイルはルルカを守り切れなかった絶望のあまり動けない。キスを止めることすらできなかった。

事と次第によってはリアナについて協力できる、今最終決戦をするつもりはないと言ったディルは、別に今が最終決戦でも構わないと言われてしまう。倒したところでリアナは喜ばないと言うと、シェルディナは回答を避けてディルのことを認識する。メルヴァがディルを嫌っていたらしい。ディルはリアナにバカンスを楽しんでもらうことについて協力できると申し出た。ホオヅキの冒険者とエリュティア神殿がどちらかが絶滅するまで闘ってもリアナは興醒めするだけだと言うと、物は言いようだと言いついてシェルディナは去って行った。

**シェルディナは会ってから去るまで平気で太陽に当たっていた。**

ここで、急に赤い大雨が降ってきて、赤い神官すら避難してしまった。ディルがザラがトウモロコシ神殿（チャニルアのピラミッド）に避難すること、雨が止んだら穀倉地帯に戻ることを確認したところで、赤い雨に当たっていたルルカをホールドしてテントへと戻った。

## テントに集合

赤い大雨を避けて、全員がテントに集合する。

ガラムとルルカはシェルディナからの寵愛勝負で張り合う。ルルカもレッドペインターをかけてもらおうと決めるのだった。

ルルカにかかった魅了は、シェルディナの視界から外れた後も効きつづける。シェルディナの能力も外伝一話当時から成長している。ディルの神聖祈祷で力をもらったローズの歌で、抵抗するルルカの魅了状態を解除した。その時に達成値が28をクリアしたので深度も1下がった。

テントの中で一行は情報共有を行う。

ガラムがルルカの深度を測るためにルルカを試すが、ガラムは赤さが足りなくて赤い人と認識されなかった。

ガラムとルルカの深度が上がっているのに、エイルは頭の中で黒曜石を塗料にしてレッドペインターを上書きできないか検討するが、塗料は作れるだろうが上書きができるかどうかは分からないという結論を得る。

## 海岸ピラミッド偵察

ガラムとクロウとハンスとハンスの影に入ったフラウは海岸ピラミッドの方へ行く。

- ・ピラミッドが作られた年代は少なくとも数百年は前のようだ。
- ・見張りたちはお喋りもすることなく人形のようにでもなく、しっかりと見張りしている。

そこまで確認すると穀倉地帯へと移動した。

## 穀倉地帯

海岸ピラミッドに行かなかったメンバーで穀倉地帯にいるザラと話をしに行く。四天王の影はなかった。

ザラと会話をする。

- ・海岸ピラミッドの上の像は創造神などではなく、張りぼてで偽装したリアナ像だった。
- ・シェルディナが街中で襲ってこなかったのは表向き平和な街にしておきたいから。
- ・リアナ像の中に入ると赤い神官ですらドレインされる。ドレインされないためには気力が必要。ドレインを防ぐための護符などは存在しない。仕組みはアキにしか分からない。
- ・エリュテシア神殿にもシーフや忍者はいる。
- ・海岸に並んでいる赤い柱は赤い神官みんなでレッドペインターしただけのもの。
- ・ミスティックレッドペインターは、かける側からすれば普通のレッドペインター。赤い結界の中で行使したレッドペインターは、全てミスティックレッドペインターになるようだ。
- ・ギリアの蜂に対する特別な対策はない。一般的な蜂は火や煙を嫌う。ザラは蜂には襲われない。
- ・街中で魔術や星霊術を使うと目立つ。

ここで、海岸ピラミッドから戻ってきたガラムたちが合流する。ローズは創造神の像が幻覚かと思ったが、そうでもなかった。話した内容を情報共有。

- ・創造神の像が偽物であるということを証明したいのなら、砲撃でもしてみればいい。ただし、リアナ像は壊さないで欲しい。
- ・創造神の像は張りぼてだから、リアナ像を破壊せずに済ませることは可能。方法は自分たちで考えなさい。
- ・クイーンには人は乗っていない。アキが誰かの遠隔操縦かも？（真実は不明。遭遇時にはカガミの合図でも動いた）
- ・クイーンと戦ったらまず勝てない。大砲の射程距離は10倍に伸びている。クイーンにはとにかくすごい武器を取り付けているくらいしか特徴がない。メルヴァがクイーンと戦ったがすぐに負けた。
- ・クロウの脳内検討でも、創造神の像を暴くには砲撃が手っ取り早いと結論が出る。
- ・メルヴァはいつもふらふらしているが、必要な時にはちゃんと持ち場に戻る。
- ・セティアの普段の持ち場は分からない。ザラとは別のピラミッドで寝泊まりしている。（トウモロコシ以外？）

エイルが穀倉地帯の赤紫のペイントを見ていると、非四天王派の別の神官リリカが話しかけてきて話に加わる。

- ・赤紫のペイントは、元々はアルマーヤの青いペイントの上にレッドペインターを上書きしているもの。
- ・青い神秘は、ターコイズとは別のアルマーヤブルーという青い宝玉から作った青い塗料で塗ったもの。効果は詳細不明だが国を守ることに。今は赤で上塗りされているので無効化されているが、さらに上から塗り重ねてしまえば赤を無効化できるだろう。

・エイルが修復した黒い宝石と同じもの。エイルの修復した黒い宝石は力を失っているが、大ピラミッドの中にだけ力のある青い宝玉が残っている。大ピラミッドの中には青い塗料もたくさん残っているはず。

- ・古代のピラミッドはエリュテシア神殿に神秘を奪われたというわけではないようだ。
- ・大ピラミッドを警備しているのは現地神官。取り入れることができれば入れる？
- ・四天王の狙いはザクラムだけではない。アルマーヤ全体を狙っている。しかし、そのためには帝国中に赤い結界を張る必要がある。ザラやリリカでもその方法は分からない。

- ・ザクラムの結界はリアナ像で形成している。
- ・非四天王派は、使えない奴に協力する気はない。
- ・リアナ像は別の場所から移動してきたもの。リアナ像の量産ができるとは、ザラには思えない。
- ・カシャクトウンへの祈りを促した偉そうな女の声は四天王の声ではない。
- ・ザラはセベル女王を見たことがあった。30歳ほどでたくさんアクセサリをつけた偉そうな女だった。
- ・リアナ像を破壊する以外に赤い結界を無効化する方法はない。リアナ像を破壊したらシェルディナは鬼神のように怒りそう。
- ・ザラ『…でも、シェルディナは他にやる事があるのかな？』

・ザクラムの街は既にエリュテシア神殿が制圧したも同然。

そして、エイルとルルカとローズは古代のピラミッドへと移動した。

## 赤豹神殿2

ガラムとディルは現地の店で貢ぎ物用の酒を購入。赤豹神殿に向かう。

ガラムは一度神殿に入っているの、すんなりと入ることができた。ゴバリカはすぐ見つかった。壁際に移動すると宿泊施設もたくさんある。

- ・ゴバリカに創造神の像が偽物であることは伝えた。ゴバリカは証拠は不要だという。
- ・ゴバリカは赤い神官たちを受け入れてしまっている。ガラムから言われて初めて間違っただと認識できた。
- ・ゴバリカにエリュテシア神殿の目的を話した。信じられないが信じるしかないという雰囲気ゴバリカ。
- ・仮にリアナ像が露出したとしても、アルマーヤ人たちが違和感を感じない可能性が高い。
- ・青い神秘で塗りかえれば神秘が戻るかもしれないといえば、ゴバリカからセベル女王が欲しがっていたゴブリン帝国の秘宝の欠片を渡された。セベル女王が欲しがっていた理由は分からない。包み（秘宝）は開けてはならない。ゴバリカが会ったことのあるセベル女王なら、包み（秘宝の欠片）を見せれば（女王まで通してもらえる）効果はあるはず。
- ・ゴバリカは昼間は神殿での勤めがある。夜ならば動ける。夜（午後5時）に赤豹神殿の下で待っているとのこと。

## 古代のピラミッド2

この場所から特に音は聞こえない。

上の神殿以外の入口は見つからない。

ピラミッドは牛馬や鉄器を使うことなく人力と石器のみで作られている。

ピラミッドからはマナは感じない。空気や空には薄く赤いマナがかかっている。

どこかに青が残っていないか探す、かつて青があったであろう場所は色を失って無色透明になっている。（零れ落ちたものなので）マテリアライズでも戻らない。

古代のピラミッドは石の色そのまま。

このピラミッドで捜し足りないところは無いが、ピラミッドに神秘を取り戻す方法ならありそう。

## アキの占い館2

占い館には20分くらいの並び行列。すぐ前に並んでいる人は恍惚としている。

並んでいる間にガラム・ディルとルルカ・エイルが合流。情報共有をした。

順番が来ると、ルルカとエイルで入る。

中にはアキの姿。シェルディナに会って好きになったと話すルルカにアキはピンク色の薬を出してくる。

エイルが本気で止めるのを躊躇っている間に躊躇なく飲むルルカ。

ルルカの深度は0になったが、身体から甘いミルクのような良い匂いがするようになった。エイルが嗅いでも特に何も起こらない。

アキ秘蔵の薬。『治ってなんかいない』ルルカに幸せを運んでくれる香り。

アキはエイルの恋愛運と金運を占う。恋愛運は終わっていて寝取られる運命が近づいている。金運は大きな買い物ときはよく考えて。

占っている間、赤い水晶が光っていた。

ルルカとエイルは占い館から出てきた。

現在のルルカの状態を診断するには医学で達成値28が必要。誰も成功しない。エイルが選定しても特に何も分からない。



## ゴバリカを拾いに

大ピラミッドと一緒にしてくれるゴバリカと会う予定は3時間後。

それまでの時間を回復に費やすことにした一行。**セフィが今日治療済のルルカ以外全員分のウォーターセラピーをかける。**

**ルルカの匂いは変わらず、彼女が置かれた状況も分からない。**

疲労の少なかったフラウトとアハトとフォルトゥナが見張りにつき、それ以外の全員が3時間睡眠をとった。

起床後、全員で赤豹の神の神殿があるピラミッドに行くと約束通りゴバリカと合流。それぞれ挨拶をしてから大ピラミッドへと向かった。

**現地人の神官とゴバリカが会話をすると、神殿に入れることになった。**

しかし、**大ピラミッドの下には四天王の一人メルヴァが待っていた。**

一行の調査の進行状況に探りを入れながら、**メルヴァと遊んで勝ったらルルカの置かれた状況を教えてやると言ったメルヴァ。**

最初は挑発に乗るまいとしたエイルだったが、ガルムに背中を押されるようにしてメルヴァと1対1で戦うことになった。

**メルヴァの選定結果はLv12の聖騎士・暗黒騎士・赤の神秘。**

自分たちが勝ったらメルヴァは手を引くという条件をルルカが提案すると、**ルルカが加わるなら（冒険者は）絶対に勝てないと断言するメルヴァ。**

一行はエイル・クロウ・ルルカを残して大ピラミッドに進んだ。

## 大ピラミッドのセベル女王

《未開分岐分》

大ピラミッドは上にある神殿の入口にも見張りがいるがゴバリカが何か会話をすると素直に通してくれた。

**内部は真っ赤に塗られていて、ところどころに赤紫がある。そこら中に象形文字や神像が置いてある。**居住スペースはないようだ。**女王は一番奥の祭壇にいますという。**

**青いものがないか探すがこれと言って見当たらない。**何かを差し出して上手く見返りをもらえるように会話の流れを作るしかなさそうだ。

ゴバリカに差し出すものはどういふものが良いかと尋ねると、**小さな神像などが喜ばれると言われる。**

**一番奥の祭壇は20m四方ほどで現地人の神官たちが多く並んでいる。その一番奥の台座に女王は寝転がっていた。**

女王は見た目30歳ほどだが、**顔に真っ赤な化粧をして化粧物のよう。赤い羽根飾りを頭につけ、身に着けているものは全て赤い。**

女王に捧げものがあると申し出て、**最初にゴバリカが以前女王が欲しがっていたというゴ布林帝国の秘宝（クリムゾンアイが使っていた宝具）の欠片を差し出す**が、女王は既にそれに興味を失っているよう。投げ捨ててしまった。

ディルは宝具の欠片を回収しようとするが、従者たちに押しとどめられる。

**セフィはリアナぬいぐるみを一部だけ女王に見せる。女王は、『赤い人型の神など私はひとつしかしらんぞ……』と、興味をひかれた様子。セフィは興味を惹こうと更に口上を述べる。必死に通訳するゴバリカ。そして、セベル女王にリアナぬいぐるみを渡すと女王はとても気に入った様子。**

**褒美を取らずというセベル女王にアルマーヤブルーを欲しいと願うセフィ。既に神秘を喪っているが何故か捨てられなかったという。**

**本来は、フォール（四天王アキの偽名）が言ったとおりに排除するつもりだったという。何とか一行は戦闘を回避しつつ大窪一杯のアルマーヤブルーを手に入れることができた。**

よく見るとセベル女王の近くにいる従者たちは、古代のピラミッドでガルムを襲撃した神官によく似ていた。聞けば（**フォールにそのかされた可能性が高い**）**セベル女王の指示で暗殺するつもりだったという。**そして、**セベル女王の声は西の方から聞こえた偉そうな声と同じだった。**

**セベル女王が投げ捨てたゴ布林帝国の秘宝は、以前は確かに女王が欲しがっていたからと、従者たちが回収していった。最近の女王の心変わりは激しいらしい。**

アルマーヤブルーを鑑定してみた。魔女ゴケとほぼ同じものと思われる。

**【アルマーヤ・ブルー 最早失われた神秘。アルマーヤ帝国はザクラムで主に使われていた染料。一度塗れば永遠に消えないとされ、この色で身をまとったものにはあらゆる不幸がやってこないとされる。戦士の装備に塗ればあらゆる災厄に対し力強く対抗できるとされる。それらは全て、アルマーヤ帝国の思い込み、言霊からくるものとされる。】**

## 一騎討ち、そして…

戦いの前に**ルルカにキスしてもらおうエイルを見て嘔き出すメルヴァ。**

クロウが公平な見届け人となり、二人の勝負が始まる。

### 1ターン目

メルヴァは霸王剣とデモンズメイルを発動し、暗黒騎士宣言、フィアフィールドを展開。エイルは竜騎兵宣言。  
暗黒騎士宣言への抵抗に失敗したエイルはフィジカルアミュレットで恐怖状態を拒否。  
エイルは7本のアダマンタイトアークジャベリンを複製しヴァルキリアロンドを舞う。トリプルアタックの投擲が2回と追撃のニーベルンストライクを浴びせた。ジャベリンの投擲はメルヴァに手傷を負わせるものの、さほどのダメージでもない様子。追撃のニーベルンストライクは名誉の道行きでダメージを殺される。  
メルヴァはホワイトスプラッシュで連撃を浴びせるが、エイルは一撃目の回避に失敗するものの二撃目はブロッキングパリティで回避する。メルヴァの重たい斬撃は霸王剣の効果によりエイルから体力を吸い取ってメルヴァに還元する。  
メルヴァはエイルを挑発。エイルも吼える。

### 2ターン目

メルヴァは暗黒騎士宣言。エイルは竜騎兵宣言。  
暗黒騎士宣言で身体が動かなくなったエイルは、ブレッシングで恐怖を振り払う。  
メルヴァは目には目をを乗せて戦いを終わらせるべくラ・フィンを叩きこむが、エイルは竜の鉄壁で弾いて意地を見せる。  
しかし、追撃のレイジには対応が間に合わず、さらにダメージが蓄積していくと同時にメルヴァは回復していく。  
エイルの戦意を削ろうと挑発するメルヴァにまじめに返すエイル。

### 3ターン目

メルヴァは『お前は、あたしの玩具になれ!』と、暗黒騎士宣言。エイルは『お断りしますっ!』と、竜騎兵宣言しようとしたところでマニフェストブレイクを食らう。  
暗黒騎士宣言を気持ちだけで克服したエイルだが、ほぼ回避不能な斬撃に捕らえられた。死ぬには十分な一撃だったが、戦乙女の特長能力で瀕死のラインまで回復するエイル。しかし、エイルにはもう戦う力は残っていなかった。  
メルヴァの勝利で戦闘は終了した。

戦闘終了後。呪いをかけるというメルヴァに、勝手にしなさいとエイルは抵抗を放棄する。  
エイルはリベントにより『二度とメルヴァに逆らえない』という制約を課されてしまう。達成値は28。  
激痛に悲鳴を上げるエイルを横にメルヴァは指を鳴らした。その瞬間、ルルカの深度は7に戻った。  
メルヴァの口からルルカの深度は既に8で四天王の指示によりいつでも深化のON/OFFができる状態となっていたことが明かされた。  
メルヴァの言葉に支配されて、負け犬と罵りながらエイルにキスをするルルカ。エイルの精神は打ち砕かれた。  
クロウが肉体を治療したものの、心に負った傷が深いエイル。メルヴァは楽しめたのかすっきりとしている。  
そこに、大ピラミッドから戻ってきた一行が合流する。一行とメルヴァが短い会話をした。  
・メルヴァはとりあえず満足した。ルルカの状態は教えたが、治し方は教えていない。  
・メルヴァは友達だからシェルディナがすることを最後まで見届ける。リアナもザクラムに来ているらしい。  
そしてメルヴァはどこかへと立ち去った。

## 夕方、戦いの後

一行はエイルとルルカを残してテントに戻り、情報を共有する。ガラムは試しに手に入れた青い塗料をレッドペインターがかかっていない脚甲に塗ってみる。青は神秘を喪っているようで特に何も起きない。手に入れた青い塗料でクイーンを塗り替えるには量が足りないようだ。しかし、少し塗っただけでも効果はあるかもしれない。  
一方エイルは、深化がONになっている間の記憶がないのか、いつもの調子に戻ったルルカに優しくされて慰められるが、それがかえって辛く、心の傷を深めてしまう。テントに戻ったエイルは疲労回復するという建前で不貞寝のような状態になり、そのまま眠りに落ちた。

## 海岸襲撃前夜

翌日に海岸を襲撃するための作戦を練る一行。

アルマーヤブルーをリアナ像にぶっかければ多少は赤い結界を弱体化は可能。赤い結界を消すにはリアナ像破壊が一番早い。

エイルが写真記憶した大砲やクイーンの配置を図にする。クイーンを挟んで左右に七基ずつの固定砲台と残りは自走式砲台。クイーンは飛行可能。

ガラムが想定した作戦手順は以下の通り。

- 1.ガラムとディルはEGGで付近で待機 こっちでも塗料は準備
- 2.クロウ達は、地上戦力の有無の確認とクイーンへの塗料塗りを優先
- 3.クイーンが塗料だけで遠隔操作も無力化したらそれでOK 大砲強奪へ 弱体化の場合のみならEGG部隊で対処
- 4.地上戦力がいた場合、クロウ達で対応 いなければ自走砲の確保へ。
- 5.鎮圧後、追っ手が来る前に創造神の像及びリアナ像を破壊 報復される前に撤収

アルマーヤブルーの総量は約100L弱。アルマーヤブルーを小分けにして投げつけることは可能だが容器を用意する必要がある。

現地人の壺なら金貨1枚で買えるが、日の出ている間しか店は開いていない。シオンの店は営業時間が不明。

ガラムのハイポット6本とセフィの聖水の瓶4本にアルマーヤブルーを詰めた。投擲判定は冒険者レベルと器用Bが固定値となる。ファミリアのフクロウに聖水瓶を運ばせるのも可能。

アルマーヤブルーを各員に分ける。

ハイポット入り2本…ガラム、ディル、クロウ

聖水瓶入り1本……セフィ、ハンス、ルルカ、ローズ

大体の相談が終わってクロウがシオンの店に買い物をしに行く。

単独行動は危険。自分がセルディナなら一人を凌いでその人を人質に撤退要求もあるとシオンに言われるクロウ。

クロウは（クロウとガラムとエイルの分の）カシャクトゥンのお守りとガラムへのお土産にセルディナぬいぐるみを買ってきて枕元に置いておいた。起きた時に大喜びだったガラム。

ガラムとディルはEGGを置いた上陸地点に行くために早起き。セフィもアイコンをするために早起きした。

エイルを除いた全員が海岸へと出発する。

## 海岸襲撃

ディルのキングとガラムのX-ZARDは無事だった。ブラシードで音を消して乗り込み、海岸へと接近する。到着は午前4時の予定。

地上部隊はそれに合わせて海岸へ。海岸は静まり返っていて、自走式の砲台は全て北東を向いている。北東には養蜂場や古代のピラミッドがある。匂いもしてこない。

地上部隊が行動しようとした瞬間、頭の中に直接、アキの使い魔Qの声が響いてくる。

見ればクイーンの後ろから両手に赤い旗を持ったQの姿がある。ルルカはレポートでクイーンにアルマーヤブルーの入った聖水瓶を投げつけるが、一瞬でQの周囲20mが真なる赤で塗りつぶされる。上書きはできなかった。

それはEGGで接近中のディルとガラムの方からもクイーンの周囲がドーム状に赤く染まる景色として見えた。

クイーンを汚されるのは困る、一行はリアナ像を狙わずだと言うQ。『君たちも魔女になってもらうよ』と尻尾を地面に叩きつけ、戦闘が開始される。

セフィとQの相対距離は20m。Qが塗った真の赤のルルカへの影響は不明。

戦闘開始と同時に砲台の砲弾が積み重なっているところもごそごそと蠢き始めた。Qは両手で赤い旗を持っている。クイーンの起動はこれからのようだ。

【Q：モンスターレベル10 テレパシーで会話や術を使う宇宙からやってきた仇敵。HP：30/30 TP：∞ 敏捷：30 回避：2d6+10 防御：18 魔法抵抗：2d+20 魔法防御：10 炎属性・混沌無効 ポスランク：即死攻撃無効 精神攻撃無効 ステータス異常無効 拘束系スキル無効】

【クイーン（HPのみ）：頭部：150 胸部：240 左腕：120 右腕：120 左脚：120 右脚：120】

## 1ターン目

セフィがダブルキャストを宣言し、歌に乗せてセフィ、フラウ、ルルカ、フォルトゥナにクイックムーブをかけ、Qとクイーンにサンダーストームで攻撃。クロウが士道覚悟と活性を宣言。ローズは雨の恋歌（マナシング曲）と精霊（テレーゼ曲）を歌い、太陽のドレスの効果で炎を実体化して接近するものを燃やせる状態に。

セフィのサンダーストームはQには完全抵抗され、クイーンの装甲を抜けなかった。

Qはルルカに『僕と契約して魔女になってよ！』と迫る。精神抵抗に失敗すると大変なことになるようだが詳細は不明。ルルカは精神抵抗に成功する。

フラウは鎧を実体化するのに失敗。赤の結界に踏み込んだため、赤の洗礼を受けた状態になった。フラウの攻撃は空振りに終わる。ルルカは地獄の衝撃を放ち、Qに大ダメージを与えるがクイーンの装甲は抜けない。フォルトゥナも両手の槍でQを狙うがわずかだけ終わる。クロウは八岐大蛇でQをバラバラに解体した。

しかし、スピアのQがクイーンの後ろから躍り出て（D行動）、赤い旗を落とさずのに受け取った。このスピアを出す行動は1ターンに1回しか出せない。一行が戦闘に勝利するには1ターンにQを2回倒す必要がある。

さらに砲弾が積んである場所から、赤い砲弾がルルカをめがけて突っ込んでくる。とっさにテレポートして逃げようとするルルカだが、赤い砲弾は急反転してルルカに突撃して手違いから途中で爆発を起こした。セフィとルルカとローズが爆発に巻き込まれる。クイーンは変形を開始。6ターン目の終了時に変形を完了するようだ。

## 2ターン目

セフィはエンチャントルーン（雷）とダークソードで剣をエンチャント。クロウは火の巻を宣言。ローズはサザンクロス（テレーゼ曲）と素敵なもの（バラード）を歌う。フォルトゥナもエンチャントルーン（氷）で両手の槍をエンチャント。

クロウは八岐大蛇で一匹目のQをバラバラに解体。すかさずQのスピアが出てくる。

セフィは剣で連撃を放つ。Qは二つとも回避したかに見えたが、その後のフォロー（セカンドラッシュ）で大ダメージを食らってしまう。

フラウはQではなくクイーンを狙ったが、堅い装甲により刃は通らない。

その後にフォルトゥナの槍がQをまともに貫いて2体目のQを倒し、戦闘が終了した。

クイーンが変形完了するまであと40秒。

Qのスピアが出現する前に赤い旗は地面に落ちてしまい、その瞬間半径20mに広がっていた真の赤が消えてしまった。セフィはすかさずクイーンにアルマーヤブルーをぶっかけて、フォルトゥナは落ちた赤い旗を確保した。クロウは音で気配を探るがQが動く音とクイーンの変形音と味方の音以外は特に聞こえない。

アルマーヤブルーをぶっかけられたクイーンはパワーダウンしてしまう。

【クイーン（HP+ $\alpha$ ）：部：50 胴部：80 左腕：40 右腕：40 左脚：40 右脚：40 回避：23、魔法抵抗：28、魔法防御：24、装甲値：26】

ルルカとフォルトゥナとクロウは自走砲を占拠。セフィは旗を鑑定。

【深紅の王旗 ロイヤルスタンダード・オブ・ヴァーミリオンという鉄壁防御を使う事ができる。使用制限：ダークプリーストLv1以上、エリュティア神官のみ使用可能。 値段は不明】

変形を完了したクイーンは上空へと逃れていく。しかし、上空にはガルムのX-ZARDとディルのキングがいた。上空200mで真下の砲台陣地にパンツァーフアウストを発射しようとしているクイーンをX-ZARDとキングが牽制。クイーンは思わぬところからの牽制にパンツァーフアウスト発射を断念。

クイーンからは遠隔操縦でクイーンを操っているアキの声が聞こえてくる。ガルムとディルとアキは口での駆け引きを繰り広げ、クイーンがこれ以上アルマーヤでの戦闘をせずにアキが何かのプレゼントをくれるという条件で、クイーンが暗黒大陸に撤退するのを追撃しないことになった。

一方ルルカは赤い砲弾と大砲を鑑定する。

【神秘を受けた赤い大砲の弾 神秘によって強化された大砲の弾。赤い結界内では射程距離が3倍になり、魔法によって擬似生命を与えられる】

【神秘を受けた赤い大砲 神秘によって強化された大砲の弾。赤い結界内では射程距離が3倍になる。つまり、神秘の赤い大砲で神秘の赤い大砲の弾を撃つと射程が9倍】

ローズは砲台陣地を見回すが、設置式・自走式の砲台と弾薬庫以外に特に何もなかった。

砲台を使ってクイーンに攻撃できないかと思ったルルカだがクイーンは真上にいるため砲口を向けることができない。その間にクイーンは南の方へと飛び去り途中で転移（？）して消えた。

## リアナ像砲撃

一行はリアナ像を砲撃しようと、動かすことのできる自走砲の砲台をディルのキングの力を使ってリアナ像の方に向ける。その間にルルカは砲弾のうちの一つにアルマーヤブルーを塗りつけると、赤い砲弾の赤い神秘が消えてしまった。(射程が元に戻った)

そして、ディルのサポートで大砲でリアナ像への砲撃を行った。一撃目で創造神の張りぼてが吹き飛んで、赤いリアナ像が露出する。次の一撃でひびが入り、5発を撃ち込むとリアナ像が内部から破裂するかのように爆散して完全破壊することができた。その瞬間、ザクラムの街を覆っていた赤い結界が消失した。

しばらくすると、顔がポロポロに晴れ上がった赤い騎士と10人ほどの赤い神官(ほとんどは女)が駆けつけてきた。赤い騎士はカガミだった。顔が腫れあがっているのは、いきなり赤いツインテールの女がやってきて大砲を撃たせろと言ってきたのを注意したらぼこぼこにされて、顔の腫れがひかないように強度38の呪いをかけられていたからだった。女神官たちはすすり泣いたり怒ったり反応は様々。カガミは戦闘をするつもりだったが敵にEGGがあるのを見て戦うのを諦めたようだ。

カガミによるとシェルディナとは連絡がつかないらしい。捨て台詞を置いてカガミたちはシオンとアキとこれからどうするか協議するために逃げ去った。

地上部隊はすぐに拠点のテントに戻り、ガルムとディルは砲台陣地の砲台に海水をぶっかけて使用不能にしてから戻った。この時点でゴブツォからの依頼は完了した。街の方では赤い神官たちの動きが慌ただしい。(第一話、第二話の終了の頃と同じ雰囲気)

## 占星呪術師フォールの休業

アキの占い館に行くと閉店中の札がかかっている。

それにも構わず入っていくとアキは撤収準備中だった。そこでアキと会話をする。

- ・今回の騒動は終わってはいない。状況に変化はない。ホオヅキの冒険者たちが来るのは分かっていた。
  - ・一般の赤い神官たちが騒いでいるのは、前回(第二話)や前々回(第一話)程度の話しか聞かせていないから。
  - ・今すぐに深度8を治すのはリアナ以外には不可能。長い目で見れば赤い結界がない場所で静養すれば治る。
  - ・アキから両手で抱えるような青い宝玉を受け取った。これが本来のアルマーヤ・ブルーだった。赤い結界が消え、もう少しで本来の力を取り戻す。
    - ・アルマーヤブルーに秘伝の技を使うと青い塗料が採れる。しかし、それはアルマーヤ帝国の中でしか効果がない。
    - ・四天王の狙いはあくまでアルマーヤ全体。ザクラムは足掛かりではない。
    - ・シオンはお店(南西の泉)にいる。メルヴァはリアナを探している。
    - ・シェルディナはアルマーヤ全土に結界を張ろうとしている。シェルディナから要請があればアキも協力する。一行がリアナ像を破壊して赤い結界を消したので、シェルディナは結界を張るのを急ぐはず。一週間のうちに何かが起こる。
    - ・シェルディナは馬鹿強いから相手してあげて。
    - ・神秘のついたクイーンならホオヅキの冒険者のEGGも破壊できた。
    - ・古代のピラミッドは元々神秘が消えていたが、リアナが砲撃をして完全に崩壊した。赤いピラミッドに砲撃をするのはカガミが止めたので唯一赤くなかった古代のピラミッドが犠牲になった。
- 同時に使い魔(?)のQとの会話をする。
- ・魔女とはこの星に混沌を呼び込む存在。混沌が広がれば楽しい。
  - ・リアナはもう手に負えない。いずれこの星を破壊し尽くすかもしれない。
  - ・シェルディナはゲヘナ火山の火山ピラミッドにいる。
  - ・ゲヘナ火山にはホオヅキの冒険者たちが良く知っているものがある。
  - ・契約者を探すつもり、シェルディナに負けて殺される間に契約をもちかけに行こう。
  - ・Qは何でも願いを叶えるが、Qの消滅を願っても、一匹消えた後新たなQが現れる。
  - ・クイーンを操作していたのはQ。アキの声がクイーンから聞こえたのはアキが通信だけしていたから。
  - ・リアナにご飯をもらいに行こうかな



## ザラの報酬

穀倉地帯に行ったセフィはすぐにザラに声をかけられた。

エリュテシア神像が壊れてしまったのは残念だったが赤の結界はきれいに消えたからと、ザラから紅白金貨を5枚手に入れた。

- ・ザラは火山の方で何か企みがあるとは聞いていないようだ。
  - ・ザラたちは、ザクラムが足掛かりでしかなくアルマーヤ全土に赤の結界を広げるという四天王の目的を知らなかった。何とかしろと喚くザラ。
  - ・リリカはアキが巨大な赤い宝玉を大事そうに抱えているのを見たという。水晶玉ではなかった。
  - ・宝玉が火山の方に持ち込まれたかどうか、リリカは知らないが、ザクラムではそれ以来赤い宝玉を見ていない。
  - ・エリュテシアがすでに手に入れた神秘には精神に作用するものがあるという。神秘を融合すると言っていたらしい。
- とにかく何とかしてくれと言いつつ、赤金貨はもうないというザラ。

## 赤豹神殿3

慌ただしい赤豹神殿にはお酒を持って行っただけで入ることができた。

どうやら、本来は黒豹神殿らしい。中にゴバリカがいた。

- ・神殿内で赤豹に違和感を感じる者が出てきている。
- ・ゴバリカは大砲の音が聞こえなかったらしい。
- ・火山で街（アルマーヤ帝国？）全体を赤い空で包もうとしているとガルムが言うと、できることがあれば手伝うと言ったゴバリカ。
- ・ゴバリカは夜に赤い和装の女（シェルディナ？）にセティアがくっついているのを見たという。

ゴバリカに、今後混乱が広がるから神殿の人間にそれとなく説明するように頼んできた。

大ピラミッドの方に行ってみると、見張りの数が半減している。見張りは現地神官のみ。（元々そうだったが）

## 拠点のテント跡地1

黒い宝石にアルマーヤブルーを塗ろうとしたが馴染んでくれない。まだ神秘が取り戻せていないようだ。

自力でメルヴァから与えられたリベントを解くことをイメージしたエイルだったが、メルヴァの「解いちゃうんだあ〜」という囁きが聞こえたような気がして、思いとどまった。

ディルが拠点の撤収を開始する。

いったんエイルとローズ以外が集合するが、ガルムとフラウが南西の泉に行った。

## 古代のピラミッド跡地

古代のピラミッドは崩壊してただの岩山のような。残骸の中では火がくすぶっている。

広さは50m×50m。この範囲から探し物をしようとする1週間はかかる。

試しに一区画を消火してみたエイルだが、とても全体の消火はおぼつかない。

ローズがサザンクロス（テレーゼ曲）を歌って全体を消火した。

しかし、広すぎてとても探し物ができるような状態ではない。諦めて拠点のテント跡地に戻る。

## 南西の泉5

ガラムとフラウが南西の泉に行くと、シオンが相変わらず真面目な顔で店を開いている。

**新商品を入荷したようだ。（リストに追記）**

宅配サービスはリアナが許可すれば可能。リアナの居場所は謎。

**シェルディナは冒険者たちから奪ったレベル、シンカーから奪ったエリュティアの力が混ざった赤い大宝玉を火口に投げ込んだ上に噴火させ、この帝国全体に赤い結界を張ろうとしている。火山灰の中に宝玉の細かい細かい粒を紛れ込ませるつもり。阻止するならシェルディナから宝玉を奪えばいい。**

シオンはリアナと赤龍皇帝ヴァクシリアのメイドなので控えているだけで、手伝いにはいかない。シェルディナは寝取られメイドごっこの相手でしかない。

ガラムがシェルディナを止めれば良いとシオンは言う。

**何か特別なものを使わない限り一行は30秒以内にシェルディナに全滅させられるとシオンは言う。（青い力が必要か？）**

シェルディナはシオンが最初に作ったリアナぬいぐるみを所有している。

**シオンの見立てでは、リアナの直筆サイン色紙は紅白金貨1枚、または10万セレンの価値がある。**

メルヴァのぬいぐるみは一部に需要がありそう。シオンはいじめっ子、

シオンに、フラウが注文したクルエルサイズを届けるというホオヅキに来る理由を作った。

## 海岸ピラミッド台座

ガラムとフラウも拠点のテントに戻ってきて改めて情報を共有する。

**アキから得た青い宝玉を女王からもらった青い塗料に近づけてみるが、何も反応がなかった。**

もしかしたら、**リアナ像が立っていた場所に何かを置けば青い結界が広がるのではないか**と思い、海岸ピラミッドへと移動する。

赤が薄まっているように見える**海岸ピラミッドからは既にエリュティア神官たちは撤収していて誰も残っていない。**

**周囲には謎の金属と石片が放射状に散らばっている。**

**謎の金属の欠片を拾ってピラミッドに登ってみる。リアナ像が乗っていた台座にアルマーヤ語で何かが描いてある。エイルが台座ごと写真記憶して、アルマーヤ語を模写しておく。**

**青い宝玉を台座の上に乗せると、少し蒼い宝玉の光が増した。しかし、青い宝玉が台座の上で安定しない。何か欠けているものがあるはず。**赤豹神殿のゴバリカに話を聞きに行くことになった。途中、**ゲヘナ火山が小規模噴火したのが見えた。赤い噴煙が見える。**

## 赤豹神殿4

ゴバリカや現地人たちが外に出て噴火音の正体を探ろうときょろきょろしている。

**ザクラムでは噴火は神の怒りだと考えられているようだ。**

ゴバリカに簡単に状況を話し、**海岸ピラミッドの上に本来あるべきものは何かと聞いてみると、世界の創造に関する何か置いてあったはずだと**混乱しながらも答えるゴバリカ。それについては**神殿長や女王の方が詳しいから、そちらからか聞くと良いというゴバリカは、自分以上に混乱している者もいるから優しく訊いてほしい**と言った。

ゴバリカの通訳で神殿長と話をしに行く。

- ・ **神殿長と現地神官たちがリアナの落書きした赤い聖書を見て混乱している。**
- ・ 神殿長に赤い聖書に書いてあることを軽く説明したガルムは、まだ**混乱している神殿長に青い宝玉を見せた。**
- ・ 少し落ち着きを取り戻した**神殿長にゴバリカに協力してもらって説明する**ガルム。15分ほど説明をした。
- ・ 信じられないという神殿長だが、**ご神体の色が薄くなってきていることを証拠と考える。女王と他の神殿長との会議をしよう**と言いつた。

・ リアナ像の欠片を見せて、**海岸ピラミッドの台座と青い宝石について知りたい**と言ったガルムに、**石碑を知らないかと**神殿長は聞き返す。

・ **石碑にはアルマーヤの、ザクラムの創造の成り立ちの神秘の全てが詰まっている。それに女王が祈りを捧げる事で、アルマーヤ・ブルーが召喚される**という。

・ 石碑について、思い当たるところがない一行に**青い宝玉を召喚した者は誰か**と聞く神殿長。**占星呪術師フォールのことを話すと、石碑の神秘まで乗っ取られたのかとショックを受けている神殿長。**

・ **フォールのところに行く**てくるというガルムに、**何か分かったら大ピラミッドに来て欲しいと**神殿長は言って、**周囲の神官たちと何かの準備を開始した。**

ゴバリカを一日こき使うことになった一行は、アキの占い館へと向かう。

## アキの撤収、そして三度海岸へ

占い館に行くと、**アキはテントを畳んでQを肩に乗せて帰るところ**だった。

**石碑について聞くと海岸に捨てたという。現地神官に見られて思い出されると面倒だから、クイーンの下に置いてあったらしい。**すぐに**海岸に移動すると赤い二つの人影が10mもありそうな剣を振り回して大砲をザクザク切っている。**

それは**メルヴァと赤いツインテールにワンピース姿のリアナが霸王剣を振り回しているところ**だった。表情は割と真面目。

**もっと色々斬りたいというリアナに、現地人の石板を斬ろう、(ガルムとディルが置いた) EGGもあるというメルヴァ。**

**石碑を回収に来たんだからもっと別のものを斬って**と言うガルムに**嫌だ**というリアナ。

一行は口々にリアナを説得しようとするが、赤いものは斬りたくない**と頑固なリアナ。**

**ルルカがエイルを虐めるメルヴァに怒りを向けると、メルヴァはすかさず深化をONにして、逆にエイルを罵らせる。**

**ルルカはリアナに斬らせるためのゴーレムを魔術刻印を使って召喚した。**

**メルヴァも赤の結界外で赤の神秘を使えるようになった。**そのため、**赤の結界の外でも霸王剣を使うことができる。この力はリアナから分け与えられたらしい。**赤の神秘とは何かをつかみかねている一行の前で、**リアナは第三形態を公開する。角を生やして赤いオーラを身にまとった。指の五本の爪を伸ばして一つにまとめて剣にして、そこに霸王剣をかけるリアナ。**

しかし、**ルルカの巨大なゴーレムには二回の霸王剣でも手傷しかなかった。**もっと霸王剣を修行しようとリアナを誘うメルヴァ。フラウはメルヴァから**尽くし甲斐のある主を探すと良い**と言われ、その人に見返りを求めずに**尽くし続ける**ように言われた。

**ガルムはシェルディナにリアナの言葉を聞かせたい**と言い、**リアナは海岸にいるから終わったらシェルディナを連れて来い、殺しても死なないから大丈夫**と言った。

**リアナはゴーレムを斬って気がまぎれたのか石碑を持って行っていいことになり、大ピラミッドへと向かう。**

ゴバリカはエリュティア神殿幹部とどうして仲が良いのかとガルムに訊き、ガルムとセフィはメルヴァとリアナは今回の元凶とはあまり関係がないと答えた。

## 再び大ピラミッド、青の神秘の復活

巨大ゴーレムを連れて大ピラミッドに行くと、多くの現地人や現地神官が集まっている。

ゴバリカに門番に声をかけてもらい、一行は全員で女王の元へと向かう。

中では、赤い化粧を落としてすっぴんになった女王が三人の神殿長と話し合っている。

自分が信じていた神が違うものであったり、本来神秘によって受け入れるか弾かれるかされるはずの異物がすぐ傍に自然に溶け込んでいた事など、ショックが大きいようだ。赤豹もとい黒豹神殿長がセベル女王に全てを伝えたという。リアナぬいぐるみも捨てられている。

ディルが海岸から持ってきた石碑を女王に捧げると、女王は今こそ石碑を読み上げる時という。

セベル女王『アルマーヤ帝国、いや、世界の大地は最高神カシャクトゥンら神々の手によって作られた。そこにタカワカックの恵みで雨が降り、水が注ぎやがて海となった。いつしか生まれた生命はカフペチュラにより知を与えられ、人間は穀物を育て食べる事を知った。チャニルアのおかげで飢える事もなく人間は文化を創り、やがて神の力を頂くべく青い色を神秘として崇め祀った。これがザクラムの成り立ち、青こそ、蒼こそ我が神秘。アルマーヤ・ブルーよ今こそ我が手に』

女王の手に青い宝玉が召喚され、ようやく思い出した神秘を手に入れて女王は涙を流した。

一行は黒豹神殿長の口添えにより、青の神秘を受けるとした女王から青い巻物を手に入れた。それは、ごく限定的な範囲に青の神秘をもたらすものだった。

【アルマーヤ・ブルー アルマーヤの伝説に伝わる蒼き宝玉を召還する。神秘の青い光を受けることにより、アルマーヤの神秘を顕現する。半径20m以内の任意のキャラクターのステータスのいずれか2つを+12する。器用、敏捷、筋力、知力のいずれかが上昇し、どれが上昇するかは影響を受けたキャラが、2d4ダイスを振って判定する。上昇ステータスが重なった場合、+18の効果を得る。この神秘によって増強されたステータスは、フィジカルエンチャント系の魔法の効果と重複する。また、空間内は青い光に満たされ、フィールド内のシンカーフィールド（レベル無効化）の影響、レッドペインター、ロイヤルスタンダード・オブ・ヴァーミリオンの効果を無効化する。術者はこの術を使用中、ひざまずいて神秘の宝玉を掲げ続けなければならない、口以外の一切の身体の動作を許されない。アイテム使用、集中移動、回避も不可。口を用いた動作のみ行うことができる。TP消費は1ターンに3。複合/特殊/放射/無差別鉄壁防壁。効果はTPが尽きるか御旗を掲げるのをやめるまで。使用条件：プリーストLv1以上orドラゴンプリーストLv1以上】

なお、今回の冒険に限り、プリーストでなくともアルマーヤ・ブルーを使用することができる。

一行は女王に礼を言うと、火山への道と火山での行方不明者について確認をした。

火山へは岩山地帯から登り始め3時間程度かかる。赤い怪物によりここ1ヶ月で数人が食われて死んだらしい。その時は（赤の結界のせい？）捧げものだと思われていた。女王からは（赤い怪物退治に気を取られて）本筋を外れないように忠告される。

ゴバリカからゴブツチョには元気でやっていると言ってもらった。

一行は最終決戦の準備のために大ピラミッドを出た。

## 南西の泉6

決戦を次の日として火山への道近くに拠点テントを建て直す。

南西の泉に向かうと、シオンが悲しそうな顔で店を開いていた。作った武器を見てもらおうとリアナを待っているのだが来てもらえないのが悲しいようだ。

ガラムがリアナが海岸にいたと教えるとシオンは店を片付け始める。飛び込みで買い物をしたハンスとローズとガラムとエイル。

火山の方を見て噴火霊がいるかどうかを探るセフィだが、どうやらないようだ。

紅白金貨を自分のために使ってしまう、ヴィザンティラにどう埋め合わせをしようかと胃を痛めるエイル。超エリュティア武器はエリュティア武器のランダムエンチャントに加えてレッドペインターの効果が三倍になると、シオンが囁いてエイルに精神的なダメージを与える。

ガラムはシェルディナとのお茶会をするならコーヒーくらい飲めるようにとシオンに言われ、コーヒーの淹れ方の指導を受けた。

全部終わったらリアナとシェルディナに歌を聞かせると約束するローズ。

周囲に現地人たちはいるが、女王や神官たちほどはあまり混乱に陥ってはいない。トウモロコシが赤くなくなっていくことも自然に受け入れるのだろう。ローズとエイルは現地人たちの前でライブを行い、現地人に取り囲まれた。

## 新拠点

新しい拠点でルルカの深度問題を解決するためにエイルは検討した。

セベル女王たちがリアナ像が破壊されたその日のうちにエリュティアの影響から脱したので、女王たちは深度を劇的に下げる方法を持っているのではないかと考えてみたが、女王たちは元々深度がそれほどでもなかった可能性がある。また、一行は元々アルマーヤブルーの神秘を持っていないので、アルマーヤブルーにより回復することはないだろう。赤の結界が消えたことによる自然治癒はあるだろう。という結論に達した。**アキの言う通り深度対策はリアナを頼るしかないようだ。**

次に力をなくした黒い宝玉にアルマーヤブルーを塗ってみたが、やはり何も起こらなかった。

**エイルとガルムとクロウとルルカは海岸のリアナのところに行った。**四人以外は回復に努めている。

ディルは投擲用の刀剣にP2コーティング剤を塗っている。

## 四度海岸へ

海岸ではリアナ、シオン、メルヴァ、アキ、Qが集結してわちゃわちゃしていた。

**ルルカの深化がシェルディナとの決戦でONにならないようにOFFに固定できないかと持ち掛ける。**

**アキはエイルが彼女の玩具になるならと条件を出し、エイルはその条件を飲んだ。**

**エイルはアキからリベントにより『エイルはアキの玩具。逆らってはならない』と制約をかけられてしまった。強度は33。**

**リアナはルルカの深化を治すとシェルディナが激怒すると言う。**

**4km先を見通すシェルディナは必ず今海岸を見ていると確信しているリアナ。**

深度を0にすることはリアナにしかできない。その方法はキスにより魔力を吸い出すこと。

シェルディナが激怒する理由に思わず納得してしまう。

困っていたエイルにリアナが、**シェルディナの言うことが聞こえなくなる催眠をルルカにかけるという折衷案を出し、エイルはそこに飛びついた。**

リアナたちの危ない漫才をバックにエイルはルルカの承諾を得て、**ルルカはリアナに催眠をかけられシェルディナの声・音が聞こえなくなった。吸血鬼の言うことやることに耳を向けなくなった。**

**リアナは報酬代わりにシェルディナを連れて来い、ダメならこの国をもらおうと誓した。**

**シェルディナは連れてくるとガルムとエイルはリアナに約束をする。**

## 新拠点2

再び合流した一行。

ローズは夕方を狙って現地人相手に歌を歌って赤金貨4枚を得た。

休息と買い物以外は特にやることもなさそうなので、**翌朝4時に起床することにして全員休息をとる。**

起床するとセフィはアイコンに祈りを捧げ、エイルはイブを飲む。

**巻物はローズが預かることとなり一行は出発した。**

## 火山へ

**岩山地帯を超えて火山へと出発した一行。周囲はそれほど寒くない。**

火山の麓に到着すると、**山頂の方に赤い結界がかかっているのが見える。火山の標高は1000mほど。**

道が崩れそうというほどでもないので、エイルは疲労対策に地竜を呼んでローズとルルカを乗せていく。

山道はほとんどない。**火山の西側にはほとんど木はなく、土を踏みしめていく感じ。**

**山頂まであと30分ほどのところで、赤い結界に入ろうとするが入れずにうろろうろしている3体のシンカーを発見する。**

気づかれてはいないが圧迫感を感じる。迂回すれば山頂への到着が1時間ほど遅れるが、迂回先が素通りできるとは限らない。

ここで、**シンカーと戦うことになった。地形は砂地（砂漠・砂浜相当。回避-2、最終移動力1/2）。**

**シンカーは剣と盾を持っているレベル12が1体と、杖を持ったレベル11が2体。**

**3体とも殲滅型でシンカーのフィールドを形成している。相対距離30mまで接近するとシンカーに気づかれた。**



## 1ターン目

シンカーAがリザレクター、シンカーBがダブルキャストを宣言。

ローズが少年少女前を向け（ポップ）と精霊（テレゼ曲）を歌い、ガルムがハイパーバーサークとダークソードと風の支配を宣言。クロウが士道覚悟と暗霧を宣言。フラウはダークソードを宣言。ディルは集中を宣言した。

エイルが通常移動してテオクリスタルを割ってP2フィールドを形成、すぐに浮遊する。

P2フィールドが形成されるとフラウが突進して大剣でシンカーBに幻影刃で攻撃。シンカーBを撃破した。

ディルとクロウは前進。

ここでシンカーの手番に移るところをローズがアドリブで歌を変更。風邪と草原と君と（マナシング曲）と素敵な物（バラード）へ。ガルムの行動順をシンカーの前にしてクロウを再行動させる。

覇気を纏ったガルムは風を操ってシンカーAとシンカーCに打撃を打ち込んでシンカーCを撃破、シンカーAを瀕死にする。そこにクロウが八岐大蛇からの返しと小太刀追撃のコンボでシンカーAを滅多切りにして戦闘は終了した。

シンカーを倒してみると目の前には山頂を中心に半径1kmほどの赤い結界が形成されている。飛んでも逃れることはできない。結界自体はザラムの街の結界と似たようなものだった。

シンカーの欠片を回収。ディルはグレースの祈祷をしておく。

目の前の赤い結界の中では赤い雨が降っていた。雨は上空の赤い雲から降っている。低くとも高度1km。

試しに結界内に石を放り込んでみたが特に何も起こらない。各々雨対策をして赤い結界に入る。

赤い結界に入る前にエイルは疲労対策に連れていた地竜を返した。

急ぎ足で山頂のピラミッドまで登り、疲労イベント発生。生命力Bと同値のTPを消費する。疲労軽減スキルは有効。

山頂まで残り300mのところ赤いピラミッドが見えた。ピラミッドの高さは30mほど。ピラミッドの上には赤い神殿がある。

特に音は聞こえないが、ピラミッドの階段を上り始めたところで、赤い魔力の雪崩に襲われる。

達成値35のメグド。対象はアンデッド（-half含）、悪魔系、妖魔、魔界貴族、犯罪者、エリュテティア以外のプリースト（戦乙女含）。魔法ダメージ秩序・対アストラル属性で45点。抵抗に成功していたら38点。一行は大被害を被った。

ローズのクラウンの光による回復を使って何とか階段を登り切ることができた。登り切ったところで赤い雨も止んだ。

## 教主シェルディナ

赤い神殿の中は照明的には問題無いものの、やはり真っ赤だった。

神殿の中は20m×20mほど。奥にも出入り口がある。

中にいたのは青筋をたてた真っ赤な和装のシェルディナと真面目な顔をしている赤い神官福のセティアとにやにやしている赤い商人服のギリアだった。

ガルム『…真っ赤だね…シェルディナ様、いるんでしょ』

シェルディナ『脅しにも屈せずにととうここまで辿り着いたか。とことん私の邪魔をしたらしい』

ガルム『……久しぶり、かな。船であったとき以外は』

シェルディナ『私のわんこが私のやる事を止めようなど1000年早いわ』

ローズ『ご機嫌よう。貴女には歌を聴いて頂かねばならないし、世界が一色に染まりすぎるのも、困るものだから』

ガルム『…そうだね 君が本当にやる気だったらそうかもしれないけど……今のシェルディナ様なら止めれそうだよ。ところで…今回の作戦は全部シェルディナ様が考えたの？』

シェルディナ『歌だと…？ふん。…そうだ、この蒼の神秘が存在するこの場所、この国の事を知り、丸ごと丸呑みにしてエリュテティア様に捧げる…それが私の計画であり、希望』

ガルム『そっちの二人は、ただ付いて来ただけ？』

シェルディナ『私の命令でここにいる』

ガルム『そっか。なら仕方ないね…珍しくらしくない事してるもんだから、二人どっちかの入れ知恵かと思ったけど、貴女が決めたなら、アタイは…シェルディナ様、貴女を殴っても止めさせてもらうよ！』

シェルディナ『良いだろう、貴様らは下がっている』

セティアは一行が入ってきた入口に、ギリアは奥の出入り口に移動する。通せんぼをしようとしたガルムにセティアは『頑張っ、ね』と、薄ら笑顔で声をかけた。ガルムの殺意を受け流すセティア。

シェルディナ『貴様ら全員もどうせ私を止める気なのだろう？忌々しい… なにかいったらどうだ？私に負けたら、最早自分の意思など吐けぬようにしてくれる』

ローズ『私が言葉で言うことは言ったわ』

エイル『私は一つだけ。あなたがルルカの心を奪った、そのお返しをただです』

ディル『逆に誰か手伝うとか言ったらその場合どうするつもりなんだ』

シェルディナ『全員、私の眷属とし私の人形にしてやろう！』

ローズ『私を自分のものと言ってよいのは、貴女ではないわ』

エイル『返答は、言わずともお判りでしょう』

クロウ『まったく……………』

ガルムは獣化。シェルディナは真っ赤な結晶のようなものでできた刀を抜いた。分類は刀。だらんと刀を持った手を垂らしているだけ。赤い瞳は一行に殺気を撒き散らす。そして刀なので刀範囲の技を使ってくるだろう。

クロウ『……………同業、か』

ローズ『フラウ。おいでなさい…ようこそ、騎士、フラウロス。私を守って頂戴』

フラウ『我が剣は救いたい者を救い、守りたい者を守る』

ガルム『リアナに剣技を教えたのは、シェルディナ様だけ……戦う前に一つだけ聞きたい。貴女はリアナのために動いてるのか、リアナに認めてもらいたい自分のために動いているのか？』

シェルディナ『……………両方だろうな。私にはリアナ様しかいない』

ガルム『見ようとしていないだけでしょ。自分で必死に動くなんて、らしくない』

シェルディナ『戯言を、貴様ももう一度吸われればただの忠実なわんこになるだけだ』

ガルム『吸わなきゃ従わせれないような人に、アタイたちが負けるか。…他の3人を見てたんでしょ。どうしてそんなに慌ててるのさ』

シェルディナ『……ふん。その三人も含めて私が頂点、人の上に立てばわかるさ』

ガルム『人の上に立つ人が、そんなに必死で余裕がなかったら誰も付いてこない。笑えない人が他人を喜ばせれるわけないだろ！リアナじゃなくてもそう思うさ…今のシェルディナ様は、つまらないよ。短い間だけ一緒にいた時とは違う本当に今が正しいのか、ついて来させるのがその二人でいいのか…この拳で考え直させてやるよ！』

**シェルディナ『貴様ごときがリアナ様の考えを知ったようにきくなあっ！！！！』**

エイルはやり取りの間に三人の実力を測った。

シェルディナ：冒険者レベル13のミフネ・ダークビショップ・真祖ヴァンパイア+赤の神秘。

セティア：レベル10のエリュティアダークプリースト・ドルイド・ファイター。

ギリア：レベル8のエリュティアダークプリースト・セージ・バード・フッカー。

公開されたシェルディナのステータス：

HP:126/126 TP:∞ 敏捷:24 ポスランク：即死攻撃無効 精神攻撃無効 ステータス異常無効 拘束系スキル無効 防御無視 3段階軽減 夜の戦慄（ダークロードスキル） アストラルHP所持（20点）ターンごとに生命力10点回復 大丈夫（ミフネススキル） 不死属性・暗黒属性・混沌属性・即死魔法を無効化

Mスキルは教主宣言に加えて三つ使用予定。

相対距離は15m。戦場は霸王剣がギリギリ振り回せる程度の広さ。

## 決戦

戦闘直前に**赤の神秘**でパワーアップするシェルディナ。レベルが5上昇して、HPが3倍。この状態では一行にほとんど勝ち目はない。決戦の火蓋が切られた。

### 1ターン目

シェルディナが**暗霧・死番の悟・教主宣言・ファストキャスト**を宣言。教主宣言はフラウのマニフェストブレイクに捕まるがかすり傷を負うにとどまる。

ローズはアルマーヤブルーに祈りを捧げることでシェルディナの赤の神秘を相殺。**シェルディナのレベルとHPが元に戻った**。エイルは竜騎兵宣言。セフィがダブルキャストとお休みルンバの体勢。ディルは集中・騎士宣言・騎士道大原則を宣言。ガルムは明鏡止水・ダークソード・ハイパーバーサーク・銀狼王の外套・狼王の狩猟（シェルディナ）・大地の支配を宣言。クロウは活性・死番の悟り・水天一碧（シェルディナ）を宣言。フラウは騎士宣言とフィアーフィールド・テラーフィールドを宣言。

シェルディナは神域暗黒期等でアキュゼイションを放って全員の弱点を看破しようとする。セフィ・ルルカ・ローズは抵抗を抜かれてしまった。クロウは反射するがシェルディナには効かない。

セフィは一手目でブルーティッシュボルトをハイパーストライクで打ち出し、二手目でエンジェランスを使い、全員に守りの力を与える。ブルーティッシュボルトは抵抗されるが手傷となった。ガルムは覇気を纏って布槍を突き込むが回避される。**ルルカはメイク・ファンタジアでルルカに抱きついてキスをするリアナの幻影を描き、シェルディナを怒らせてエイルを泣かせた**。エイルはジャベリンを4本複製してからヴァルキリア・ロンドでジャベリンを6回投擲してから、追撃のニーベルンストライクでジャベリンを投擲し、シェルディナにダメージを与えた。

シェルディナの反撃。鬼術の爆炎で全員を焼きに来たが、魔力が上手く集まらずに不発に終わる。（ダメージファンブル）そして、前進してガルムに通常攻撃をかける。ガルムはそれを張力で受けて、反撃のエグゼブレイカーを放った。シェルディナとガルムは互いにダメージを与えた。

フラウは覇王剣を振り下ろすがレイジの追撃を含めてシェルディナに避けられた。ディルはオラトリアに祈祷を捧げ全員の幸運を願った。

### 2ターン目

シェルディナは**教主宣言・ファストマジック（キャスト?）**を宣言。（暗霧と死番の悟は戦闘中有効）フラウがマニフェストブレイクを仕掛け、そここのダメージを通す。

ローズはアルマーヤブルーを継続。エイルは竜騎兵宣言。ガルムはダークソード・ハイパーバーサーク・銀狼王の外套・狼王の狩猟Lv2（シェルディナ）（明鏡止水・大地の支配は戦闘中有効）を宣言。ディルは騎士宣言・集中・騎士道大原則を宣言、セフィはダブルキャストとクレイジーバーンを宣言。クロウは雨尾秘伝天城式・陰陽五輪重ね（陽）を宣言。フラウは騎士宣言。

シェルディナのファストマジックでエグゼイザを使用。セフィとルルカとローズの心の中の弱さを覗こうとする。セフィはアミュレットを使い悪影響をカット。（エグゼイザを受けたことまではキャンセルできない）ルルカはリフレックスで反射したがシェルディナがアキュゼイションにかかっていなかったため無効。ローズは心の中の弱さを覗かれた。

エイルはヴァルキリア・ロンドで合計6回のジャベリンを投擲して、地味なダメージを与えた。セフィはダブルキャストの一手目でフィンガーフレアボムズでシェルディナに集中攻撃。さらに二手目でブルーティッシュボルトでの集中攻撃で、こちらも地味にダメージを稼いでいく。ガルムは覇気を纏って渾身の蹴りを放ち大きなダメージを与える。切り札を切ったクロウは八岐大蛇と小太刀で怒涛の攻め。小太刀は外れたが、八岐大蛇はかなりダメージを稼いでいる。さらに奥の手の紅日輪を繰り出して大ダメージを叩き込み、シェルディナは倒れた。戦闘は一行の勝利で終了した。

倒れこみ負けを認めたシェルディナ。ヴァンパイアロードなのですぐに回復する。消耗して動けないガラムとクロウとローズとその影に入ったフラウがその場にとどまる。おそらくギリアは火口に赤い宝玉を投げ込みに行ったのだろうと言うシェルディナ。セティアとギリアは実はシェルディナの指示ではなく勝手についてきたらしい。シェルディナはリアナに捧げることができたなら何でも良かったと言う。シェルディナは寂しかった。海岸でリアナと残りの四天王と一行が戯れていた時、シェルディナは世界が滅びれば良いと思っていた。宥めようとするガラムとローズだがシェルディナの怒りが止まらない。そこにセティアがやってきて、実はシェルディナも狂紅病で深化していたと告げた。ヴァンパイアロードが病気になるはずがないと不思議に思うシェルディナだが狂紅病は別らしい。リアナが欲しくてたまらないシェルディナ。

一方、奥の方の扉にいたはずのギリアは火口に向かって駆けだしていた。追いかけるのはセフィとディルとルルカとエイル。間に合わないと判断したセフィがディルとエイルを連れてテレポート、さらにルルカが一気にテレポートでギリアの前に出た。余裕の笑顔のギリア。止めるつもりで来た四人の目の前でギリアが指を鳴らす。赤い宝玉を火口に落とすのは蜂の役目だった。ギリアは抵抗をせずに手を挙げているが、火口にテレポートと飛行で急行したセフィとエイルの目の前で赤い宝玉は巨大な蜂によって火口に投げ込まれ、すぐに噴火が始まった。ディルに縛られたまま狂ったように笑っているギリア。

火口からは溶岩が溢れている。一旦全員でシェルディナのところに戻り、セティアが用意したポータルで全員で海岸に移動した。

## 終幕

海岸にはリアナが一人っきりだった。赤い火山灰が海岸にも降っている。

リアナの幻影をまわりつかせたままのルルカにリアナが引いた。

何事かをセティアと話してからリアナの前に出るシェルディナ。しばらく黙っていたが、海岸に土下座をしてリアナに謝ったシェルディナ。アルマーヤ全土に舞っている赤い火山灰の——リアナの魔力を取り除いてほしいとシェルディナは願った。

目を見開いて生唾を飲むセティアと、笑いが収まって混乱するギリア。

リアナはその願いを聞き届けてアルマーヤに広がった赤い魔力をすべて口で吸い取った。レッドペインターの魔力も、火山の赤い灰もすべてが吸い取られる。ゲヘナ火山の噴火はごく小規模な火山活動へと納まった。

リアナの前で膝立ちしたままで泣いているシェルディナとリアナをセティアは驚きの表情で見ている。一方目の前で起きていることの意味を知ったギリアは絶望の表情へと変化した。

シェルディナは、アキの作った狂紅病に感染し、部下に踊らされたことリアナは言い、シェルディナの髪を掴み上げて、シェルディナの唇にキスをして深度を吸い取った。硬直し申し訳なさそうな表情で涙を流していたシェルディナだが、キスをされると真っ赤な顔になった。そこに残りの四天王たちがタイミングを見計らって登場。遠慮のないメルヴァとアキとシオンの弄りに怒ったシェルディナ。四天王同士でのじゃれあいになった。

やはりセティアとギリアがシェルディナをそそのかしたのかと頭に血が上るガラム。メルヴァの口から、セティアはシェルディナの様子がおかしかったからと付けられたお目付け役だったことが明らかになった。シェルディナを深化させた犯人はギリアだった。蜂を使うことでシェルディナをも深化できたらしい。手加減しつつ思い切りぶん殴るという武神にしかできない制裁でガラムはギリアの顔を殴った。歯が何本か折れたようだ。シェルディナのリアナへの想いを利用して私利私欲に走ったことを謝罪するギリアだった。

フラウは注文したハーティリアへのお土産用の鎌を配達してもらえるようにとリアナに許可を取り、シオンはホオヅキに来る口実を与えられた。シェルディナもホオヅキに捕虜として連行されるギリアを受け取りに来るといふホオヅキに来る口実をもらう。

セティアはリアナの実在を初めて知ったがメルヴァから口止めされた。その態度からセティアはメルヴァのことが好きなことが分かった。

全員が揃っているうちにとローズがエイルの伴奏で歌った。聴き入っている四天王だが、まだリアナには届かないようだ。シェルディナは遠い昔に住んでいた故郷のアヅマのことを想っていた。

ルルカもリアナのキスで深化を解いてもらった。キスの瞬間、ルルカは四天王からのヘイトを受けた。

一行はゴブツォから報酬を受け取りホオヅキへと帰還する。冒険は終了した。

## リザルト

**30000経験値 普段の3倍のFP&知名度 テオクリスタル4個 経過は5週間。**

シンカーの欠片（中）はエリュテシア神殿に渡せば1万セレンに。

**深紅の王旗をさらに鑑定し、ロイヤルスタンダード・オブ・ヴァーミリオンの効果を知り出した。**

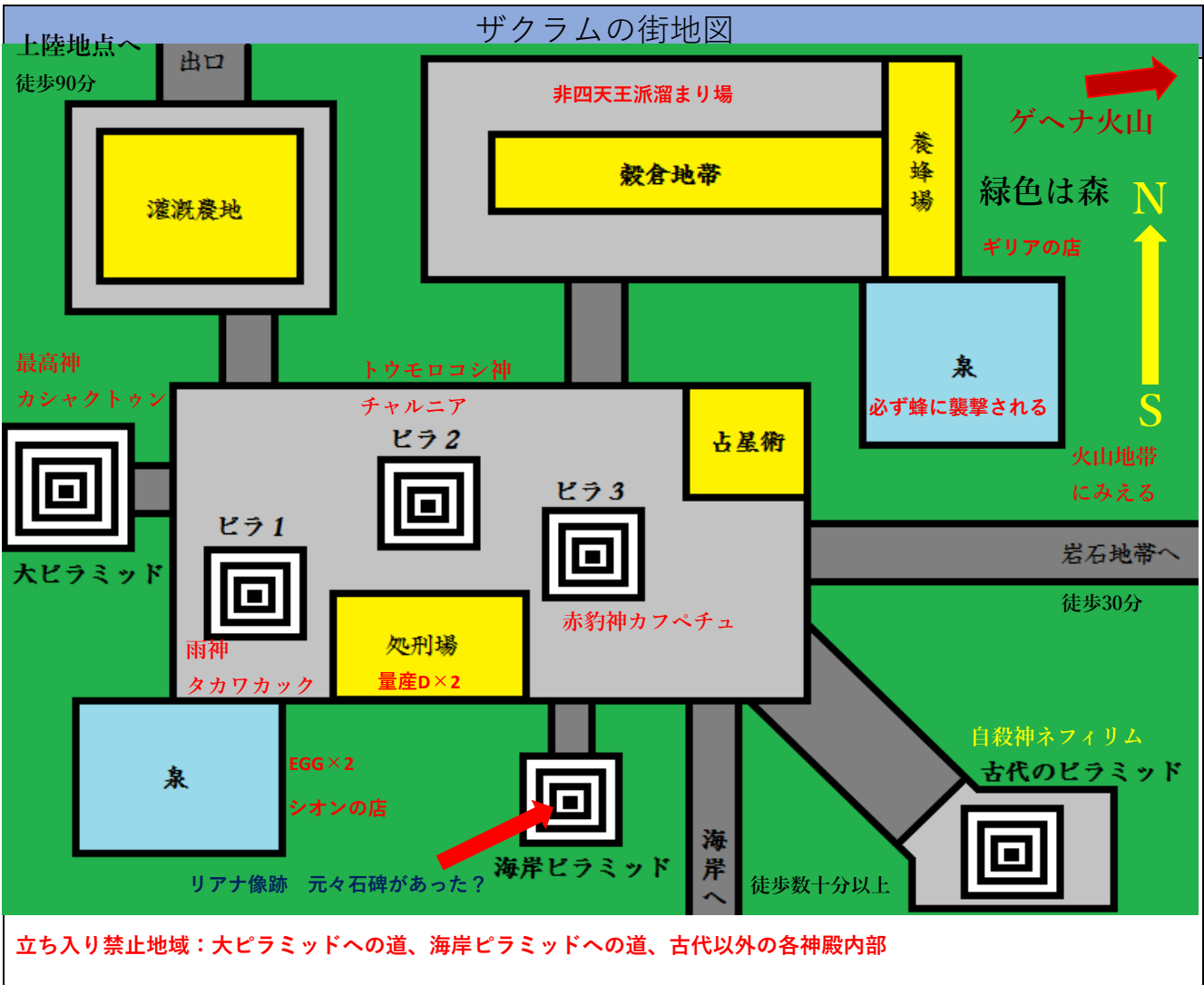
【ロイヤルスタンダード・オブ・ヴァーミリオン（深紅の王旗） 中空に出現する王なる紅、真なる赤による御旗を立てる。半径20m以内を全て真なる赤で塗りつぶす。この御旗を立てている間、その範囲内には如何なる赤も入り込むことができない。フィールド内のシンカーフィールド（レベル無効化）の影響、レッドペインター、炎属性の影響、混沌属性の影響、血液系の攻撃術、アルマーヤ・ブルーの影響を全て無効化する。旗を立てている間、使用者は旗を立てるために直立のポーズを取らねばならず、口以外の一切の身体動作を許されない。アイテム使用、集中移動、回避も不可。口を用いた動作のみ行うことができる。TP消費は1ターンに3。複合/特殊/放射/無差別鉄壁防御。効果はTPが尽きるか御旗を掲げるのをやめるまで。使用条件：ダークブリストLv1以上、エリュテシア神官のみ使用可能。】

**ロイヤルスタンダード・オブ・ヴァーミリオンとアルマーヤ・ブルーを同時に使用した場合、両方とも効果が無効化するようだ。**

## 時系列

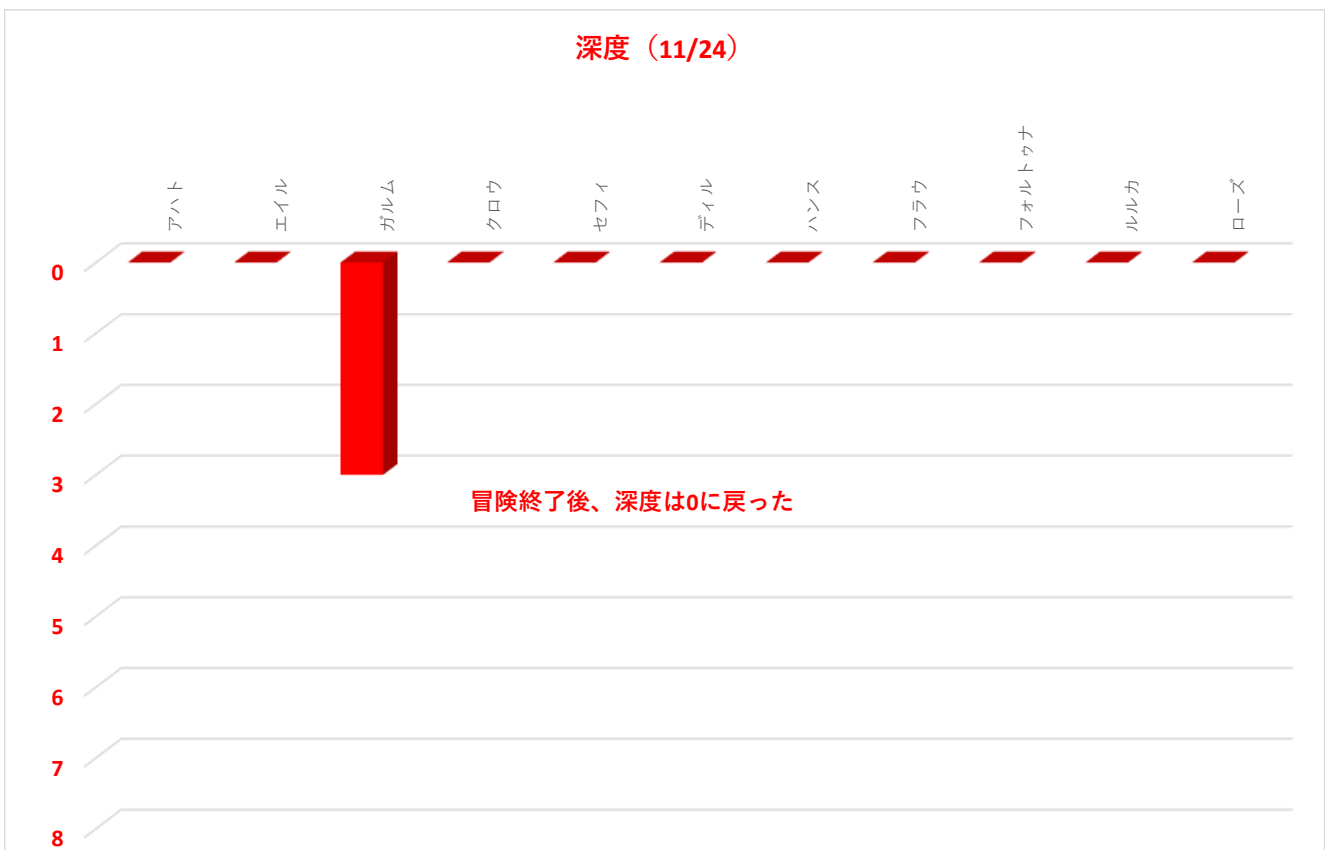
3ヶ月前	エリュテシア神殿がザクラムでの工作を開始	
1ヶ月前	セベル女王が姿を見せなくなった	
1日目	ホオヅキを出発。シオンとリアナを目撃。	
2日目		
3日目		
4日目		
5日目		
6日目		船で移動
7日目		
8日目		
9日目		
10日目	ゴ布林帝国の北の岬近海に到着。大砲から安全距離をとって上陸	陸路移動
11日目	陸路で北の岬に移動。ゴブッチョと会う。ゴブリンの砦に行き一泊。	
12日目	砲撃のない朝に砂浜から砲台を観察。合流後船に移動する。	陸路移動
13日目	EGGを回収して出航。	
14日目	午後3時くらいからアルマーヤ沿岸の偵察。	船で移動
15日目	海峡を横断。アルマーヤに上陸。ザクラムに入る。ガラムが古代のピラミッドで襲撃される カガミが古代のピラミッドを砲撃。	
16日目	早朝の海岸でメルヴァと会話。シェルディナと遭遇。ゴバリカをカフベチュ神殿で発見。リアナこっそり降臨。セベル女王に謁見。メルヴァとエイルが一騎討ち。	
17日目	海岸襲撃。砲台とリアナ像を破壊。砲台陣地の砲台を使用不能にしてゴブッチョの依頼を完遂。占星呪術師フォールが店仕舞い。ゲヘナ火山が小規模噴火。メルヴァとリアナを海岸で発見。石碑を大ピラミッドに移送。女王と神殿長の会議。シオン屋閉店。シェルディナ以外の四天王とQがリアナの元に集結。	
18日目	火山に向かって出撃。殲滅型シンカーと戦闘。火山ピラミッドに入る。シェルディナとの決戦。火山が噴火して赤の結界が再び広がるが、リアナが赤い魔力を吸い取って、アルマーヤから赤の影響が消えた。冒険終了。	





狂紅病	
深度8	深度7に加えて、四天王の指示によって病状スイッチのON/OFFを自由自在に支配される。
深度7	深度5に加えて、赤い人の言うことに忠実になる。
深度6	深度5に加えて、赤い人のお人形になる。
深度5	深度4に加え、「赤」の洗礼を受けた状態になる。赤いものに攻撃できない。プリースト技能があればそれをレベルそのままエリュテア神殿のダークプリーストにすることが可能。
深度4	赤と自分の欲望の為には何でもしたくなる。赤いものの攻撃する場合、毎回精神抵抗20が必要。
深度3	赤が大好きになって怒りやすくなる。赤を否定する人には特に。
深度2	赤が好きになる
深度1	赤が嫌いではなくなる
治療法	メディカルキュアで達成値28以上、ウォーターセラピー（狂紅病に汚染された水を使用してはならない）は達成値に関わらず、深度を1下げる。治療は一日一回まで。グッドエンドまたはトゥルーエンドで強制的に0に戻る。

主な深化リスク	
赤い蜂に刺される	北東の泉に行くとき必ず1d20匹が襲ってくる。回避目標値18。鎧は無視。1回刺されるごとに50%の確率で深度+1
赤いスマートドラッグを飲む	深度が8になる
シェルディナに魅了される	深度が7になり魅了状態になる。シェルディナから離れても魅了は消えない
ピンク色の薬を飲む	深度が8になる



## ネームドNPCリスト

<b>シオン</b>	<p>エリュテティア神殿四天王の一人。赤いメイド。パレッサー。リアナをアルマーヤに連れ出そうとして苦勞していた。南西の泉で店を出している。歌わないが大声を出すのは好き。今回はあまり店が流行らずに暇を持て余しているが、リアナを待つことが目的らしい。またリアナが来てくれると嬉しいが別に必須というわけでもない。リアナグッズは大体彼女が作っている。シェルディナのぬいぐるみもあるらしい。いじめっ子気質がある。赤の結界外でも赤の神秘が使えるようになった。海岸でリアナにコーヒーを薦めたり武器を見せたりしていた。フラウに鎌を届けるというホオヅキに来る口実をもらった。</p>
<b>シェルディナ</b>	<p>エリュテティア神殿四天王の筆頭。教主。ヴァンパイアロードでミフネ。胸は小さい。彼女が普段いるのは暗黒大陸の、エリュテティアでは最大の神殿。今回は核心のところにいるらしい。リアナにやるのがつまらないとダメ出しをされたせいか、最近イライラしているらしい。ピラミッドを転々としている。毎日14時には就寝している。赤い神官にアルマーヤ語を教える時は女教師のコスプレをしていた。今回は本気で殺しに来るようだ。穀倉地帯で遭遇。ルルカを魅了した。街の外で出会ったら戦闘になる可能性が高い。リアナ像が破壊されたので、火山を噴火させて一気にアルマーヤ全土を赤い結界で覆う計画にシフトしている。ホオヅキの冒険者と決戦を繰り広げ、敗北した。実はギリアの企みで深度4になっていた。赤の結界外でも赤の神秘が使えるようになった。捕虜になったギリアを引き取りに来るといふホオヅキに来る口実をもらった。</p>
<b>メルヴァ</b>	<p>エリュテティア神殿四天王の一人。赤い赫醒（かくせい）騎士（聖騎士+暗黒騎士+赤の神秘）。混沌属性に耐性がある。四天王で彼女だけが人間。姓は捨てた。今回、重要なところを守っているらしい。彼女のくっころはリアナの琴線には響かない。たびたび一行の前に現れて色々な試練の代わりに情報をくれる。一騎討ちで破ったエイルに二度と逆らえないという制約を与えた。海岸でリアナに霸王剣を教えて二人で戯れていた。以前は赤の結界の中でしか霸王剣を使えなかったが、今は赤の結界が無くても霸王剣が使えるらしい。ディルに借りた釣竿を返しに来るといふホオヅキに来る口実をもらっている。</p>
<b>アキ</b>	<p>エリュテティア神殿四天王の一人。シャドウの赤い魔女。占星術師フォールを名乗って占い館を構えていた。よく当たると大人気。冒険者から赤金貨を搾り取る気はないと言いが…？ 催眠洗脳をするなら目を見て魔法でイチコロ。赤い水晶玉を用意してあるが、それは占い用だとのこと。四天王の悪だくみは大体この人がアイデアを出す。赤の結界外でも赤の神秘が使えるようになった。エイルに逆らえなくなる制約を与えた。</p>
<b>Q</b>	<p>アキの使い魔ということになっている。テレバシーで会話や術を使う宇宙からやってきた仇敵。身体のスベアがたくさんある。君たちも魔女になってもらうと一向に言い放つ。アキが魔女になったのはQが原因なのか？ 戦闘中に女性を魔女化することができるようだが、詳細は分からない。シンカーの欠片を食べる。</p>
<b>リアナ</b>	<p>エリュテティア神殿のご本尊。アルマーヤに行きたくないと言っていた。人に言われたとおりにするのが嫌だとのこと。暇になったのでカガミがいるところに出現したらしい。どこかで冒険の様子を見てにやにやしているかもしれない。どこに行ったかと思っていたら海岸で霸王剣を振り回していた。デスヴォイスも覚えたという。深度を劇的に下げることができるのは彼女だけ。シェルディナとルルカからキスで狂紅病の赤い魔力を吸い取り、アルマーヤ全土の赤い魔力も吸い取った。</p>
<b>カガミ</b>	<p>エリュテティア神殿の聖騎士。（暗黒神殿だから暗黒騎士？）赤外伝のレギュラー。チャラチャラしていたりきざだったりする。砲術にも通じ、EGGを乗りこなすこともできるようだ。力づくの勝負でもめ事のケリをつけようとする脳筋思考はホオヅキの冒険者に近いかもしれない。男性ながらエリュテティア神殿の上位を占めていて肅清などされていないところをみると四天王から一応信頼されているのかも。なお、アルマーヤ語は1週間で覚えた。リアナと遭遇してぼこぼこされて強度38の呪いをかけられた。</p>

セティア	エリュテティア神殿の神官。現在No.5。ザラ曰く『メルヴァの腰巾着』。メルヴァが大好き。お尻が大きな女の子だが余裕の態度。指パッチンで赤い雨を降らせたりやませたりする。シェルディナと一緒にいたという目撃報告があった。実は様子がおかしくなったシェルディナを心配したメルヴァがお目付け役としてシェルディナの元に派遣していた。
ザラ	エリュテティア神殿の神官。現在No.6（自称）。シオンの部下。非四天王派閥。見た目15歳（75歳）くらいの貧乳ダークエルフ。新四天王の座を狙い、ホオヅキの冒険者に、現四天王の計画を潰させ、失脚させようと狙っている。残念ながらリアナに直接会ったことはないようだ。アルマーヤ語はシェルディナの特訓により6日間で覚えた。意外と四天王の情報を知らない。
リリカ	エリュテティア神殿の神官。非四天王派。年齢は26歳。割と落ち着いた性格で、色々教えてくれた。ザラ曰く『真面目系変態』。ザラの照りないところを埋めてくれる子。
ギリア	赤い商人。北東の泉で店を出している。指パッチンで大きな赤い蜂を召喚する。邪魔者が北東の泉に行く時には必ず蜂で襲うように命令を受けている。ザラ曰く『シェルディナにぞっこん』。今回シェルディナを深化させていた犯人。決戦後に蜂を使って赤い宝玉を火山に放り込んだ。ホオヅキの捕虜になってしばらく蜂蜜を作るとか。
セベル	ザクラムの街を治める女王。ザラ曰く『30歳くらいでアクセサリをたくさんつけている偉そうな女』。大ピラミッドにいて色々忙しいことになっているが実際は違った。会うなんてとんでもないことらしい。お祈りの時は荘厳で凛々しいが、アルマーヤ民に話しかける時には笑顔をみせる。最近はないが偶に見回りをしていたらしい。ここ一ヶ月は声を聞けるだけで姿は見ない。カフベチュの神官長ですら会えない。ザクラムで最初に聞いた偉そうな女の声はやはり彼女のものだった。「そしてアルマーヤが存在しているのは最高神カシャクトゥン神のお導きである！より一層の祈りを！」現在は見事に（アキの手により？）すっかり赤墮ちしている。顔には過剰な赤い化粧。身に着けているものは全て赤。リアナぬいぐるみを与えると喜んで、アルマーヤブルーをくれた。赤い結界が消失してようやく正気になり、石碑に祈りを捧げて神秘を取り戻した。
高貴な人	本名不明。雨の神タカワカックの神殿長。赤いインディアンのようなヘアバンドを付け、石や羽根で作られた服を身につけている。「今日も平和に朝がやってきた！これも雨の神、タカワカックの恵みである。民よ祈れ、祈りを天に捧げよ！」
鷹の人	本名不明。トウモロコシの神チャニルアの神殿長。赤い鷹の被り物をしている。「今日の私達が飢える事もなく生きていけるのはトウモロコシ神チャニルアのおかげである！今年も豊作になるよう皆祈るのだ！」
仮面の人	本名不明。赤豹神カフベチュの神殿長。「今日も平和である！天災もなく私達が生活できるのは、赤豹神カフベチュのご加護があるからだ！さあ、皆感謝を示すために祈るのだ！」
ゴバリカ	ゴブリンの隊長の部下で数ヶ月前からアルマーヤ側に取り残されている。ゴブリンのくせに痩せ型。カフベチュの神殿にいたが、神秘に触れたためか今はザクラムに着たゴブリンに神秘の素晴らしさを伝えるつもりらしい。（洗脳されている？）彼によると、創造神の像は最近できたものらしい。流暢なアルマーヤ語を話す、いつの間にか話せるようになっていたという。エリュテティア神殿の目的を聞いて、ゴブリン帝国の秘宝の欠片を託してくれた。しかし、セベルに捧げた秘宝が投げ捨てられるとひどく落ち込んでいた。
ゴブツォ	ゴブリン帝国北方占領部隊副隊長。副将軍。全部丸投げされて偵察を任されている責任者。ぼっちゃり系ゴブリンジェネラルで本来なら常に20人の取り巻きに囲まれている。遭遇した時はザクラムからの砲撃に怯えすすり泣いていた。一応依頼者ということになっている。長槍を使わせればゴブリン帝国で十指にはいるという。（自称）
ヴァクスイリア	赤龍皇帝。シオンのもう一人の主人。詳しくはパレッサーの赤龍皇帝の説明文に記載あり。シオン曰く『リアナ様のものにされてしまった』。

## アルマーヤの神殿

カシャクトウン	最高神。ピラミッドもひとときわでかい。お祈りの時、アルマーヤ民が空を見上げたので、空に関係する神かもしれない。神官は偉そうな声の女セベル女王。大ピラミッドの中にはまだ青い神秘が残っているというが、実際には神秘を喪った青い塗料が残っているだけだった。神殿の中は既に真っ赤に塗りつぶされていた。ところどころには赤紫もあった。しかし、赤い結界が消失した今、これもやがて元に戻っていくだろう。
創造神	海岸ピラミッドの上に像がある。槍を持った部族長のような姿。彼がいるから農産物が豊作になるらしいが、恐れ多いので遠くから祈るだけ。しかし、ゴバリカは数ヶ月前までそんな像はなかったと言った。創造神の像は、偽装されたリアナ像だった。海岸ピラミッドの上には本来別のものが置かれるはずである。
ネフィリム	古代のピラミッドで祀られる。ネフィリムは自殺を司る女神であり、死者を楽園に導く役割を持っている。楽園にいけるとされるのは聖職者や戦死者、いけにえ、自殺したものとされる。縄で首をつって自殺するというのは誇り高き死に方といわれている。ネフィリムは首を吊った女の絵で大きく石碑に描かれている。古代のピラミッドにずっといると自殺したくなってしまいうらしい。色々あって神秘を喪ったらしい。リアナの砲撃でピラミッドが完全に破壊された。
タカワカック	雨の神。ピラミッド1で祀られる。神官は赤いインディアンのようなヘアバンドを付け、石や羽根で作られた服を身につけた高貴な雰囲気の人。
チャルニア	トウモロコシの神。ピラミッド2で祀られる。神官は頭に赤い鷹の被り物をかぶった男。トウモロコシも赤ではないということが自然に受け入れられていくのだろう。
カフペチュ	赤豹の神。実は黒豹の神だった。ピラミッド3で祀られる。神官は不気味な赤い仮面の男。ご神体は赤豹の像。とても誇り高く立派であり勇猛。仮面もご神体もおそらく本当は黒いはず。



## 赤金貨レート（交渉により値引き）

紅白金貨	12万セレン 11万セレン
赤大金貨	12000セレン 11000セレン
赤金貨	1200セレン 1100セレン

## 南西の泉・シオンの店の販売品

シンカーの欠片（買い取り）	赤1枚	1体あたりの価格。
アルマーヤモカ	赤5枚	精神安定する上質コーヒー。飲むと強度20までの精神異常を解除します。発狂なども回復できます。10回分。浄化不要。
アルマーヤ塩	赤大1枚	アルマーヤ特産の上質な塩。通常の塩の代わりにこれを使ってクックマスターの料理を作ると、美味しさ+1、TP回復料理のみTP回復効果が+1される。100回分。浄化不要。
シェルディナぬいぐるみ	赤大1枚	シェルディナのぬいぐるみ。ザクラムで製作したもの。 <b>限定1個。品切れ。</b>
カシャクトウンのお守り	赤大1枚	カシャクトウンの力がこめられたお守り。アルマーヤ帝国の中のみ、アルマーヤ原住民や原住種以外から受けるダメージ-2。この効果は他のアイテムと重複する。重さ1。
ターコイズブレスレット	紅白1枚	ターコイズの宝石がちりばめられたブレスレット。恐怖抵抗に+3できるブレスレット。重さ1。
黒曜石武器	紅白1枚	種類は色々。命中+2、この武器で攻撃すると敵の受動防御を1段階効果を下げる事ができる。（受動防御5→4など）基本的に武器庫の武器。アヅマ武器にする場合は要相談。
闇のヒスイ	紅白1.5枚	持ち主に厄災が降りかかるそうになると、その厄災を他人に転化させてくれる。所持している人がファンブルした時に使うか選べる、使うともう一度ダイスを振りなおせる。1度使用すると割れて直せない。（使い捨て）重さ3。 <b>（データの効果はファンブルの振り直しのみ）</b>
天竜の船主像	紅白2枚	自分の船に取り付けると、船を冒険中使用したとき獲得名声+5
紫武器	紅白2枚	エリュティアの神秘とザクラムの神秘を合わせて作った武器。形状と重さを指定可能。命中+2、ベース+5、シンカーに与えるダメージ+2。アルマーヤ帝国の中のみ原住民や原住種以外の敵に更にダメージ+4。基本的に武器庫の武器。アヅマ武器にする場合は要相談。
クルエルサイズ（レジェンド鎌）	紅白3枚	重さ24のデスサイズ扱い、残酷な鎌との悪名高きレジェンド。命中+1・ダメージ+4。魔王が使うと更にダメージ+1。 <b>（限定1個）品切れ。</b>
アイグロス（レジェンド槍）	紅白5枚	重さ14のウィングドスピア扱い。雪の切先といわれたレジェンド槍。命中+2。氷属性が付与されておりベース+20。パワーヒットに相手を凍結させるを追加する。 <b>（限定1個）品切れ。</b>
へし切長谷部（刀）	紅白10枚	人の魔王が使っていた刀、黒い鞘が特徴。（居合刀や長刀や小太刀などではない）アナザーワン。鋼、折れない、ベース+10、命中+2ダメージ+2クリティカル-1、全力攻撃のときはこの武器の補正が命中+4ダメージ+4クリティカル-2に変わる。全力宣言中のペナルティを2軽減。この刀を持っている間は防御技・受け技が一切使用不可能。重さ18。価値は便宜的に100万セレン。 <b>（限定1個）</b>

## 北東の泉・ギリアの店の販売品

超エリュティアロングスピア	紅白5枚	???（鑑定達成値24で一部判明 26で全容判明）レッドペインターの効果が3倍となる
超エリュティアバスタードソード	紅白5枚	???（鑑定達成値24で一部判明 26で全容判明）レッドペインターの効果が3倍となる
蜂蜜	100セレン	壺一杯。

入手アイテム	
赤いスマートドラッグ	アキから入手。ルルカが所持。効果は本シナリオ限定。頭の回転が異常に早くなり、集中力も異常に上がる薬。1時間の間、知力+12（限界を突破する）。深度が8になる。
シンカーの欠片	15日目灌漑農地の西で1個。ガルムが回収。 <b>Qが食べた。</b>
シンカーの欠片（中）	18日目ゲヘナ火山山頂付近で3個。エイルが回収。
黒く丸い宝石	古代のピラミッドの瓦礫からエイルが修復したもの。力を失っている。エイルが所持。
謎の包み	ゴバリカから入手。セベル女王が欲しがっていたゴブリン帝国の秘宝（クリムゾンアイの使っていた宝具）の欠片。包みを開けてはならない。セベル女王に捧げたが投げ捨てられ、女王の従者が回収した。 <b>既に手元にはない。</b>
ピンク色の薬	ルルカがアキから渡されて飲んだ。 <b>もう残っていない。</b> 深度が8になる。
アルマーヤ・ブルー（塗料）	最早失われた神秘。アルマーヤ帝国はザグラムで主に使われていた染料。一度塗れば永遠に消えないとされ、この色で身をまとったものにはあらゆる不幸がやってこないとされる。戦士の装備に塗ればあらゆる災厄に対し力強く対抗できるとされる。それらは全て、アルマーヤ帝国の思い込み、言霊からくるものとされる。現在は信仰心が薄れているので特殊な効果はない。大壺一杯分。100L弱。
シェルディナぬいぐるみ	シオンの店で販売。赤大金貨1枚。クロウが買ってきてガルムにプレゼント。何かをしてもらってもそっけない反応をする雰囲気がよく出ている
カシャクトウンのお守り	シオンの店で購入。クロウ、ガルム、エイルが持っている。
深紅の王旗	ロイヤルスタンダード・オブ・ヴァーミリオンという鉄壁防御を使う事ができる。使用制限：ダークプリーストLv1以上、エリュティア神官のみ使用可能。値段は不明。
青い宝玉	アキから入手。アルマーヤ・ブルーの源泉。さすがにいつまでも持っているわけにはいかない。
紅白金貨	赤い結界を破壊できたのでザラから5枚手に入れた。
アルマーヤ・ブルー（巻物）	アルマーヤの伝説に伝わる蒼き宝玉を召還する。神秘の青い光を受けることにより、アルマーヤの神秘を顕現する。半径20m以内の任意のキャラクターのステータスのいずれか2つを+12する。器用、敏捷、筋力、知力のいずれかが上昇し、どれが上昇するかは影響を受けたキャラが、2d4ダイスを振って判定する。上昇ステータスが重なった場合、+18の効果を得る。この神秘によって増強されたステータスは、フィジカルエンチャント系の魔法の効果と重複する。また、空間内は青い光に満たされ、フィールド内のシンカーフィールド（レベル無効化）の影響、レッドペインター、ロイヤルスタンダード・オブ・ヴァーミリオンの効果を無効化する。術者はこの術を使用中、ひざまずいて神秘の宝玉を掲げ続けなければならない、口以外の一切の身体の動作を許されない。アイテム使用、集中移動、回避も不可。口を用いた動作のみ行うことができる。TP消費は1ターンに3。複合/特殊/放射/無差別鉄壁防御。効果はTPが尽きるか御旗を掲げるのをやめるまで。 <b>使用はM行動。</b> 使用制限：プリーストLv1以上orドラゴンプリーストLv1以上のみ使用可能。 <b>（冒険後は、プリーストLv1以上orドラゴンプリーストLv1以上の人がこの巻物を消費する事によって鉄壁防御を習得する。覚えたら使い捨て）価格設定不能。売買禁止。返却不要。今回の冒険のみ2回以上使用可能。</b>
テオクリスタル（消費）	火山でのシンカーとの戦闘で <b>1個消費。</b> （エイルが供出）

鉄壁防御などまとめ	
エイル	見切り 愛は無敵！ デイメンションスリップ 戦乙女の凱歌 竜の鉄壁
ガルム	報魔撃滅掌 Xブレイカー 火の巻
クロウ	水の巻 風の巻 火の巻
セフィ	プロテクションフロムアイギス
ディル	ピンポイントバリア ホワイトダンス 禁后
ハンス	見える ダムドラオン デイメンションスリップ
フラウ	霸王剣 魔王剣
ルルカ	サモンダック ブロッキングクラッシュ マジカルディフェンダー 首継ぎ 秘術・血返し プロテクションフロムアイギス
ローズ	ホワイトダンス テレーゼ曲各曲 スプリング曲各曲